

令和7年度

事業報告

日本赤十字社富山県支部

日本赤十字社の使命

わたしたちは、
苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、
いかなる状況下でも、
人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

わたしたちの基本原則

わたしたちは、世界中の赤十字が共有する7つの基本原則にしたがって行動します。

- 人 道：人間のいのちと健康、尊厳を守るため、苦痛の予防と軽減に努めます。
- 公 平：いかなる差別もせず、最も助けが必要な人を優先します。
- 中 立：すべての人の信頼を得て活動するため、いっさいの争いに加わりません。
- 独 立：国や他の援助機関の人道活動に協力しますが、赤十字としての自主性を保ちます。
- 奉 仕：利益を求めず、人を救うため、自発的に行動します。
- 単 一：国内で唯一の赤十字社として、すべての人に開かれた活動を進めます。
- 世界性：世界に広がる赤十字のネットワークを生かし、互いの力を合わせて行動します。

わたしたちの決意

わたしたちは、赤十字運動の担い手として、
人道の実現のために、
利己心と闘い、無関心に陥ることなく、
人の痛みや苦しみに目を向け、
常に想像力をもって行動します。

ごあいさつ

富山県民の皆様並びに地区分区をはじめとする関係者の皆様には、日頃から赤十字事業に深いご理解と温かいご支援ご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

日本赤十字社は、赤十字の基本原則に基づき、支援を必要とする人々に博愛の手を届けるべく、国内外において様々な人道活動を積極的に展開しております。

さて、令和6年1月に発生した能登半島地震から2年以上が経過しましたが、その爪痕は大きく、未だ生活の再建には至らない方々も多い状況が続いております。

日本赤十字社富山県支部では発災直後からの救護活動や県内の被災市や能登地域への救援物資の提供など被災者支援活動を行い、今も義援金の受付や仮設住宅集会所の訪問ボランティア活動を継続しております。

また、東北・北海道地域や南海トラフ地震など大きな地震災害が予想される中、装備の拡充や訓練・研修の強化など、救護体制の充実に努めております。

一方、国外では、令和4年から続くウクライナ紛争やイスラエル・ガザ、またその周辺国であるレバノンにおける人道危機、今年になってからはイランでの紛争に多くの一般市民が犠牲になっております。こうした紛争や自然災害で苦しむ人々に対し国際赤十字は、各国の赤十字社とともに一丸となって人道支援を続けています。

日本赤十字社は、令和9年には、西南の役の際に誕生した前身の博愛社の設立から数えて、創立150周年の節目の年を迎えます。また、今年令和8年は、救急法等安全講習事業の始まりとなる「衛生講習会」を開始してから100周年となりました。こうした節目を契機に、未来に向けても引き続き災害時の救護活動がしっかり行えるよう訓練や装備の充実に努めるとともに、救急法等の講習普及、赤十字奉仕団や青少年赤十字など、赤十字事業の促進を図っています。

また、患者さんにやさしく地域医療に貢献する医療事業や安全な血液の安定供給をめざした血液事業、安全で安心できる家庭的な養育を行う社会福祉事業などの着実な実施に努めています。

これらの赤十字事業の推進に必要な事業資金につきましては、社会経済情勢は増々厳しい状況にありますが、地区分区、自治振興会、町内会、奉仕団、有功会を始め、多くの県民の皆様方のひとかたならぬご尽力によりまして目標を達成することができました。

ここに令和7年度の事業報告をお届けするにあたり、関係各位のご支援ご協力に重ねて感謝申し上げます。

日本赤十字社富山県支部では、今後とも、地域社会のニーズに即した赤十字活動を推進し、県民の皆様のご期待に応えて参りたいと存じますので、一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和8年6月

日本赤十字社富山県支部

支部長 新 田 八 朗

目 次

1 評議員会等の開催	1
(1) 評 議 員 会	1
(2) 監 査	1
2 災 害 救 護	2
(1) 国 内 の 災 害	2
(2) 地域への災害に対する支援事業	3
(3) 救護班等の編成と救護要員の研修	4
(4) 救 護 訓 練	6
(5) 救護資材の整備	7
(6) 災害救援車の配備	8
(7) 救援物資の備蓄と交付	9
(8) 臨 時 救 護	10
(9) 防 災 教 育 事 業	10
(10) 海 浜 救 護	11
(11) 救護資材の貸し出し	12
(12) 災害義援金・救援金受付状況	12
3 赤十字救急法等の講習	13
(1) 救 急 法	13
(2) 水 上 安 全 法	17
(3) 健康生活支援講習	18
(4) 幼 児 安 全 法	20
4 赤十字奉仕団	23
(1) 赤十字奉仕団結成状況	23
(2) 赤十字奉仕団富山県支部委員会常任委員会役員	25
(3) 主な奉仕団関係行事	26
(4) 奉仕団活動内容	28
(5) 赤十字奉仕団活動に基づく表彰	29
5 青少年赤十字	30
(1) 青少年赤十字加盟状況	31
(2) 富山県青少年赤十字指導者協議会役員	33
(3) 講習会等の開催	33
(4) 青少年赤十字活動実践校	34
(5) 富山県青少年赤十字賛助奉仕団	35
(6) 青少年赤十字防災教育事業	35
(7) 青少年赤十字国際交流事業	35
6 社会福祉活動	36
(1) 在宅ひとり暮らし高齢者への訪問活動	36
(2) 身体障害者への援護	36
7 救護看護師の養成	37
(1) 日本赤十字豊田看護大学	37
8 国 際 活 動	37
9 医 療 事 業	39
(1) 富山赤十字病院	39
(2) 富山赤十字訪問看護ステーション	40
(3) 愛宕・安野屋地域包括支援センター	40
(4) 富山赤十字ケアプラン事業所	40
(5) 患者支援センター	41

10 血液事業	42
(1) 令和7年度実績の概要	42
(2) 献血手帳、献血カードのアプリへの移行	43
11 社会福祉事業	44
(1) 児童福祉施設	44
12 会員の増強と社資の確保	45
(1) 赤十字運動月間を中心としての赤十字思想の普及	45
(2) 会員の増強	45
(3) 地区区分との協力体制の強化	46
(4) 企業とのパートナーシップ	46
(5) 遺贈寄付に関する協定締結	47
(6) 社資功労感謝状伝達式	47
(7) 富山県赤十字有功会総会	47
(8) 全国赤十字大会	47
(9) 日本赤十字社創立150周年プロジェクト	48
(10) 日赤紺綬・有功会会長協議会の総会	48
(11) 社資の募集実績	48
13 赤十字思想の普及	50
(1) 事業を通じての広報	50
(2) 大阪・関西万博国際赤十字・赤新月運動館	50
(3) 「全国ご当地ハートラちゃん」の制作	50
(4) マスコミを通じての広報	51
(5) 刊行物等による広報	51
(6) 広報視聴覚資材一覧	52
14 支部・施設間の連絡調整	53
15 日本赤十字社富山県支部役員名簿	53
16 日本赤十字社富山県支部・施設一覧	54
資料Ⅰ 地区分区分別 活動状況	
17 救護装備品配備状況	56
18 令和7年度地区・分区救援物資分置状況	57
19 救援物資交付状況	58
20 令和7年度講習実績一覧表	59
21 令和7年度赤十字奉仕団活動一覧	65
資料Ⅱ 決算概要	
(1) 令和7年度一般会計歳入歳出決算説明書	78
(2) 令和7年度医療施設特別会計決算説明書	79
(3) 令和7年度社会福祉施設特別会計歳入歳出決算説明書	81

1 評議員会等の開催

評議員会等の開催状況は、次のとおりであり、各議案異議なく承認された。

(1) 評 議 員 会

ア 第1回支部評議員会

(ア) 期 日 令和7年6月8日

(イ) 場 所 ANA クラウンプラザホテル富山

(ウ) 審議議案

第1号議案 令和6年度支部事業報告について

第2号議案 令和6年度支部一般会計、医療施設特別会計及び社会福祉施設特別会計歳入歳出決算について

(エ) 報 告 富山赤十字病院、富山県赤十字血液センター、受託富山県立乳児院の近況について

イ 第2回支部評議員会

(ア) 期 日 令和8年2月3日

(イ) 場 所 ANA クラウンプラザホテル富山

(ウ) 審議議案

第1号議案 令和8年度支部事業計画について

第2号議案 令和8年度支部一般会計、医療施設特別会計及び社会福祉施設特別会計歳入歳出予算並びに血液事業計画について

(エ) そ の 他 富山赤十字病院、受託富山県立乳児院の近況について

(2) 監 査

ア 期 日 令和7年6月3日

イ 場 所 富山赤十字病院

ウ 監査委員 笹原 靖直、三條 孝順

エ 監査内容 令和6年度日本赤十字社富山県支部、富山赤十字病院、富山県赤十字血液センター、受託富山県立乳児院における業務の運営及び支部一般会計、医療施設特別会計、社会福祉施設特別会計の歳入歳出決算に係る監査が行われた。

2 災 害 救 護

日本赤十字社は、災害救助法や災害対策基本法に基づき国が行う災害救助に協力することが義務づけられている。災害発生時には、その規模等に応じて各県支部、施設と連携して救護活動を行うとともに、日頃から、いつ、どのような災害が発生しても迅速に出動できるよう救護員の確保や救護訓練をはじめ、救護装備・資材の整備、救援物資の備蓄等を行っている。

令和7年度は、大分市や大船渡市での大規模火災や、トカラ列島、青森県東方沖の地震、大雨や台風による災害が発生し、各地で多くの被害を受けた。富山県支部では義援金の受付を行うとともに、能登半島の地震・大雨災害の被災者を支援する赤十字奉仕団員のボランティア派遣活動を行った。

(1) 国内の災害

ア 赤十字奉仕団の活動

・ともしび赤十字奉仕団

活 動 日	5月24日
活動場所	能登町柳田地区応急仮設住宅集会所
活動内容	リラクゼーション（足湯、ハンドケアなど）
参加団員	布村 貞子、頭川 雅子、安井 千明 支部職員1名

・ともしび赤十字奉仕団

活 動 日	1月17日
活動場所	輪島市杉平町第1団地集会所 輪島市稲屋町第1団地集会所
活動内容	リラクゼーション（足湯、ハンドケアなど）
参加団員	布村 貞子、篇原 志信、三ツ山幸子 支部職員1名

・ ともしび赤十字奉仕団

活 動 日 3月21日

活動場所 輪島市杉平町第1団地集会所

輪島市稲屋町第1団地集会所

活動内容 リラクゼーション（足湯、ハンドケアなど）

参加団員 滝口美枝子、土肥 順子、後谷 弘美

支部職員1名

イ 義援金の受付（12頁参照）

令和6年能登半島地震

令和6年1月1日、石川県能登地方を震源としたマグニチュード7.6の地震が発生し、石川県を中心に甚大な被害をもたらした。

日本赤十字社では、発災直後から医療救護班や災害医療コーディネートチームを派遣し救護活動にあたりとともに、救援物資の配布などを行った。令和6年度においては、義援金受付や奉仕団によるボランティア活動などの復興支援を行った。

令和6年能登半島地震災害義援金（富山県支部受付分）

224件 29,480,115円（富山県被災者支援）

72,765,183円（本社受付富山県被災者支援）

147件 18,179,925円（被災3県支援）

(2) 地域への災害に対する支援事業

県内で第1次避難所となる公立小学校などを対象に、救護所用テント（ワンタッチ式）を配備する事業を令和7年度から開始した。（令和12年度までの6か年で173ヶ所に配備する計画。令和7年度は37か所へ配備し、計画を完了した。）

令和7年度

富山市：呉羽小学校・長岡小学校・寒江小学校・柳町小学校・中央小学校

西田地方小学校・堀川小学校・堀川南小学校・光陽小学校・東部小学校

高岡市：下関小学校・能町小学校・野村小学校・牧野小学校

魚津市：経田小学校

水見市：朝日丘小学校・比美乃江小学校

滑川市：田中小学校・南部小学校

黒部市：中央小学校・桜井小学校

砺波市：出町小学校・庄南小学校

小矢部市：石動小学校

南砺市：福光東部小学校・福光南部小学校

射水市：小杉小学校・大島小学校・大門小学校

入善町：上青小学校・飯野小学校

朝日町：さみさと小学校

上市町：白萩西部小学校・陽南小学校

立山町：立山中央小学校・利田小学校

舟橋村：舟橋村役場

(3) 救護班等の編成と救護要員の研修

ア DMA Tの編成（富山赤十字病院）

要員 \ 区分	医 師	看護師長	看護師	業 務 調整員	計
D M A T	1	3	6	4	14

イ 救護班の編成

要員 \ 区分	医 師	看護師長	看護師	主 事	自 動 車 操作要員	計
常 備 要 員	8	8	16	8	8	48

ウ 救護員登録状況

救護員区分	救 護 班 要 員						災害対策 本部要員	血液供給 要 員	合計
	医師	看護師長	看護師	主事	助産師	薬剤師			
支 部	0	0	0	0	0	0	10		10
病 院	40	22	250	19	21	5	20		377
血液センター	0	0	13	4	0	0	8	10	35
合 計	40	22	263	23	21	5	38	10	422

エ コーディネートチーム

要員	区分	コーディネーター	コーディネートスタッフ	計
コーディネートチーム		2	6	8

オ 救護要員の研修

No.	期 日	研修会名	研修会場	対象者	参加人数	主催
1	6月4日(木)	救護班要員研修会Ⅰ	富山赤十字病院 教育研修棟	常備救護班要員	12	日赤富山 県支部
2	9月13日(土) ～14日(日)	第3ブロック救護 班研修会 (救護班要員研修 会Ⅱ)	日赤愛知医療 センター 名古屋第2病 院	コーディネーター コーディネートスタッフ 救護班要員 救護担当スタッフ	8	日赤第3 ブロック
3	①10月22日(水) ～23日(木) ②11月23日(日) ～24日(月)	こころのケア指導 者養成研修会	日赤本社	看護師	2	日赤本社
4	11月1日(土) ～2日(日)	日赤災害医療コー ディネート研修会	日赤本社	コーディネートスタッフ	2	日赤本社
5	3月1日(日)	こころのケア指導 者フォローアップ 研修会	富山赤十字病 院 (web)	こころのケア指導者	15	日赤本社

(4) 救 護 訓 練

災害発生に際し最も迅速を要する被災者の医療救護、搬送、通信、医薬品輸送などの技術的な向上を図るため、毎年、各種の訓練を実施するとともに、県、市町村等が行う防災訓練に積極的に参加している。

R7年度

期 日	訓練名	訓練場所	訓練内容	参加者
6 / 26(木)	支部・施設合同災害救護訓練	富山赤十字病院 日赤富山県支部	救護資機材運用 救護所設営 医療救護 災害診療記録作成 炊き出し	病院 40 血液センター 2 支部 8 奉仕団 15
8 / 27(水)	富山県支部災害対策本部立ち上げ訓練	日赤富山県支部	災害対策本部運用	病院 10 血液センター 2 支部 9
9 / 5(金)	富山空港消火救難訓練	富山空港	医療救護	病院 5 支部 1
9 / 21(日)	魚津市総合防災訓練	魚津市	救急指導法	救急法指導員 3 支部 1
9 / 28(日)	富山県総合防災訓練	南砺市、砺波市	医療救護	病院 5 支部 3
9 / 28(日)	射水市総合防災訓練	射水市	救急指導法	救急法指導員 2 支部 1
10 / 11(土)	富山市総合防災訓練	富山市	医療救護	病院 5 支部 2
10 / 11(土) ～12(日)	日本赤十字社第3ブロック支部合同災害救護訓練	日本赤十字社福井県支部	救護班参集 医療救護(救護所) 災害対策本部運用	病院 6 支部 4
11 / 12(水)	富山県国民保護訓練	富山県庁	図上訓練	支部 2
11 / 15(土) ～16(日)	中部ブロック DMAT 実働訓練	福井県	医療救護	支部 4

(5) 救護資材の整備

品 目		数 量	品 目	数 量
救	急 車	1台	テ ン ト	10張
救	援 車	6台	ド ラ ッ シ ュ テ ン ト	2張
衛	星 電 話	4台	ワ ン タ ッ チ テ ン ト	4張
業務無線	基 地 局	2基	エ ア テ ン ト	3張
	移 動 局	11台	折 畳 寝 台	31台
	携 帯 型 移 動 局	14台	担 架	15台
短波無線（アマ無線）		1基	担 架 架 台	6台
NBC（災害除染セット）		1セット	移 動 組 立 式 炊 飯 器	13基
発	電 機	5台	医 療 セ ッ ト	3セット
投	光 器	4台	初 動 用 医 療 セ ッ ト	1セット
患 者	用 毛 布	60枚	ボ ラ ン テ ィ ア ベ ス ト	50着
携 帯	ラ ジ オ	5台	通 信 用 パ ソ コ ン セ ッ ト	2セット
医 療	用 作 業 台	5台	モ バ イ ル Wi Fi ル ー タ ー	1台
救護班用放射線防護資材		14セット	携 帯 電 話	2台
救 命	胴 衣	15着	蓄 電 池	5台
A	E D	4台	ラ ッ プ ポ ン	10台
浄	水 器	1台		

(6) 災害救援車の配備

災害救護活動の円滑化を図るため、昭和60年度から管内地区区分へ災害救援車を配備している。

○救援車両一覧

配備先（常置場所）	車両の種別	車種（名称）	製造会社名	取得年月日	登録番号
日赤富山市地区	災害救援車	エブリイワゴン	スズキ	H25. 6. 24	富山580は3315
日赤富山市地区（大沢野・細入）	災害救援車	エブリイワゴン	スズキ	H25. 6. 24	富山580は3316
日赤富山市地区（大山）	災害救援車	A Dバン	ニッサン	H19. 6. 21	富山400た1862
日赤富山市地区（八尾）	災害救援車	NV100クリッパー	ニッサン	H27. 7. 10	富山480け9018
日赤富山市地区（婦中・山田）	災害救援車	エブリイワゴン	スズキ	H26. 7. 23	富山580は9233
日赤高岡市地区	災害救援車	N V200バネット	ニッサン	H29. 7. 24	富山800す3607
日赤高岡市地区（福岡）	災害救援車	A Dバン	ニッサン	H17. 9. 15	富山400そ4163
日赤魚津市地区	災害救援車	プロボックス	トヨタ	R 3. 11. 10	富山400と5814
日赤氷見市地区	災害救援車	アルト	スズキ	H30. 11. 15	富山581え5499
日赤滑川市地区	災害救援車	エブリイPCハイルーフ	スズキ	R 1. 6. 5	富山480す3732
日赤黒部市地区	災害救援車	プロボックスDXコンフォート	トヨタ	R 3. 9. 30	富山400と5535
日赤黒部市地区（宇奈月）	災害救援車	サクシードワゴン	トヨタ	H24. 6. 29	富山501は4815
日赤砺波市地区	災害救援車	プロボックス	トヨタ	R 5. 10. 31	富山400な562
日赤小矢部市地区	災害救援車	プロボックスバン	トヨタ	H28. 8. 26	富山400て253
日赤南砺市地区（城端）	災害救援車	タント	ダイハツ	R 4. 3. 15	富山581た3527
日赤南砺市地区（上平）	災害救援車	カラーラフィールダー	トヨタ	H26. 7. 28	富山501も840
日赤南砺市地区（利賀）	災害救援車	ラッシュX	トヨタ	H25. 7. 19	富山501み8480
日赤南砺市地区（井波）	災害救援車	プロボックスバン	トヨタ	H24. 8. 23	富山400ち7281
日赤南砺市地区（福野）	災害救援車	ハイゼットカーゴ	ダイハツ	H28. 7. 28	富山480こ5651
日赤南砺市地区（福光）	災害救援車	タント	ダイハツ	H30. 7. 30	富山581え7353
日赤南砺市地区	災害救援車	タント	ダイハツ	R 7. 10. 17	富山581の6712
日赤射水市地区（大島）	災害救援車	ミライース	ダイハツ	H26. 6. 19	富山580は6497
日赤射水市地区（大門）	災害救援車	ハイゼットカーゴ	ダイハツ	R 3. 1. 29	富山480せ3304
日赤射水市地区	災害救援車	プロボックス	トヨタ	R 6. 6. 26	富山400な2435
日赤入善町分区	災害救援車	プロボックスバン	トヨタ	H29. 7. 6	富山400て3007
日赤朝日町分区	災害救援車	A Dバン	ニッサン	H29. 6. 5	富山400て2713
日赤舟橋村分区	災害救援車	ステップワゴン	ホンダ	R 7. 1. 27	富山301ふ4671
日赤上市町分区	災害救援車	ウイングロード	ニッサン	H26. 9. 30	富山501も4274
日赤富山県支部	災害救援車	サファリ	ニッサン	H12. 3. 28	富山300せ7955
日赤富山県支部	災害救援車	ウイングロード	ニッサン	H16. 9. 30	富山500や683
日赤富山県支部	救援トラック	エルフ	いすゞ	R 7. 2. 6	富山100そ22
日赤富山県支部	災害通信指令車	アルファード	トヨタ	H25. 3. 22	富山300さ7865
日赤富山県支部	救 急 車	ハイエース	トヨタ	H25. 3. 26	富山800す1288
日赤富山県支部	災害救援車	フィット	ホンダ	R 2. 3. 10	富山502と391
日赤富山県支部	災害救援車	タント	ダイハツ	R 8. 2. 6	富山581は3957

(7) 救援物資の備蓄と交付

県内において発生した火災・水害その他災害の被災者へ迅速に救援物資が交付できるように、日頃から備蓄、地区区分への分置を行っている。

○災害救援物資備蓄状況

品 名	前年度末現在	取 得	払 出	令和7年度末現在
毛 布（ケイリン・本社）	1,043	11（※1）	55	999
綿 毛 布	297	2（※1）	21	278
緊 急 セ ッ ト	1,832		37	1,795
安 眠 セ ッ ト	165			165
鍋 ・ や か ん セ ッ ト	154	2（※1）	14	142
カ セ ッ ト コ ン ロ	173	1（※1）	15	159
タ オ ル	13,242		976	12,266
石 鹸	308		19	289
タ オ ル ケ ッ ト	700			700

※1 地区区分戻入分

地区区分別災害救援物資及び弔慰金交付状況

地 区 分 区 名	世帯数	人数	毛布	綿毛布	緊 急 セ ッ ト	タオル	鍋セット	カセット コ ン ロ	安 眠 セ ッ ト	石 鹸	弔慰金	
											件数	金額
富 山 市	5	18	18	9	6	180	3	4			3	30,000
高 岡 市	21	29	20	3	22	620	4	4		17	1	10,000
射 水 市	1	2		1	1	10	1	1		1		
魚 津 市												
氷 見 市	6	13	6	8	7	140	5	5		1	3	30,000
滑 川 市	6	8	7			6						
黒 部 市												
砺 波 市												
小 矢 部 市												
南 砺 市												
入 善 町												
朝 日 町												
舟 橋 村												
上 市 町	1	2	4		1	20	1	1				
立 山 町												
そ の 他												
合 計	40	72	55	21	37	976	14	15	0	19	7	70,000

※その他払出については劣化等により処分したもの。

(8) 臨時救護

地方公共団体、地区分区等の要請により救護員を派遣し、参集者の安全を図った。

No.	期日	派遣行事名等	日数	救護員数	取扱傷病者数
1	4 / 25	富山縣護国神社春季例大祭	1	2	0
2	8 / 6	森と地下水の環境観察会	1	2	0
3	8 / 1～3	全国中学校ヨット選手権大会	3	8	16
4	10 / 5	富山縣護国神社秋季例大祭	1	2	0
5	10 / 11	とやま森と木のフェスタ2025	1	2	2
6	10 / 25	富山県放デイゆるゆる大運動会	1	2	0
7	11 / 8	富山伐木チャンピオンシップ2025	1	2	0
合 計			9	20	18

(9) 防災教育事業

地域のニーズに合わせて災害への備え、防災・減災に関する講習会を開催してきた。日本赤十字社防災教育事業指導者を養成し、大規模災害の危険性に対し、地域の「自助」「共助」の力を高めるため、地域コミュニティでの防災教育に力を入れている。

また、避難所生活で役立つ知識等についても普及に努めている。

講習項目

災害への備え	防災や減災の考え方、地震・津波・風水害がもたらす様々な被害から、平時の備えの重要性を理解する。
家具安全対策ゲーム（おうちのキケン）	自宅の平面図を描くことで、地震の際の危険を把握し、自宅（家具）の安全対策の必要性を理解する。
ひなんじょたいけん	カードゲームを通じて避難所生活の一部を体験し、避難者の目線で心がける要点を理解する。
災害エスノグラフィー	被災した人々の視点で書き留められた読み物から、災害を追体験し、被災状況をイメージする。
災害図上訓練（DIG）	地域の防災マップの作成を通じ、防災上の資源や危険性を把握し個人や地域の防災意識を高める。
応急手当等	身近なものを用いた応急手当、救急法、災害時高齢者健康生活支援等を学ぶ。

防災啓発プログラム実施状況

No.	期日	地区名	実施場所	対 象	受講数	講習項目
1	4 / 12	射水市	大島コミュニティセンター	奉仕団員	45	家具安全対策ゲーム
2	4 / 24	富山市	八尾コミュニティセンター	奉仕団員	126	家具安全対策ゲーム
3	6 / 14	高岡市	川原公民館	地域福祉活動員	40	災害への備え、家具安全対策ゲーム
4	6 / 16	高岡市	南条小学校	児童・保護者	113	災害への備え、おうちのきけん
5	6 / 21	富山市	野積公民館	地域住民	22	家具安全対策ゲーム
6	6 / 27	射水市	富山福祉短期大学	学生	50	ひなんじょたいけん
7	6 / 30	富山市	速星小学校	児童・教職員・保護者	425	災害への備え、災害エスノグラフィー
8	7 / 6	射水市	二口自治会公民館	地域住民	40	家具安全対策ゲーム
9	7 / 19	富山市	サンフォルテ	生徒・教職員	36	ひなんじょたいけん
10	8 / 31	射水市	新富町自治会公民館	地域住民	33	家具安全対策ゲーム
11	8 / 31	砺波市	イオンモールとなみ	一般	100	おうちのきけん
12	10 / 2	高岡市	高岡向陵高校	生徒	7	ひなんじょたいけん
13	10 / 5	南砺市	木崎野公民館	地域住民	55	家具安全対策ゲーム
14	10 / 7	射水市	大門小学校	児童・教職員	103	おうちのきけん
15	10 / 18	射水市	作道コミュニティセンター	地域住民	30	家具安全対策ゲーム
16	10 / 28	射水市	射北中学校	生徒	37	家具安全対策ゲーム
17	11 / 14	射水市	射北中学校	生徒	74	家具安全対策ゲーム
18	11 / 30	射水市	二口コミュニティセンター	地域住民	50	家具安全対策ゲーム
19	12 / 10	富山市	富山第一高校	生徒	141	家具安全対策ゲーム
20	12 / 11	富山市	富山第一高校	生徒	142	家具安全対策ゲーム
21	12 / 12	富山市	富山第一高校	生徒	142	家具安全対策ゲーム
22	2 / 10	富山市	NES	社員	15	ひなんじょたいけん
23	3 / 3	富山市	富山赤十字病院	奉仕団員	40	家具安全対策ゲーム
24	3 / 11	高岡市	高岡第一高校	生徒・教職員	56	ひなんじょたいけん
25	3 / 20	富山市	野積地区センター	地域住民	24	災害エスノグラフィー
合 計					1,946	

(10) 海 浜 救 護

県内5ヵ所の海水浴場の臨時海浜救護所へ応急手当品を配付し、海水浴場利用者の安全を図った。

市 町 村	救護所名	開設日数	取扱傷病者数
富 山 市	八 重 津	62	1
	岩 瀬 浜	62	1
高 岡 市	松 太 枝 浜	16	3
氷 見 市	島 尾 浜	37	3
黒 部 市	石 田 浜	37	3
計		214	11

(11) 救護資材の貸し出し

支部が保有する炊き出し大鍋セットやA E D（自動体外式除細動器）を県内各地で開催される自治会等主催の防災訓練や各種イベントに対して無料貸し出しを行っている。

令和7年度の貸し出し実績

A E D 5回

炊き出し大鍋セット 4回 12セット

(12) 災害義援金・救援金受付状況

(単位：円)

目 的	件 数	金 額	送 金 先
令和6年能登半島地震災害義援金（富山県被災者支援）	224件	29,480,115円	富 山 県
〃（本社受付富山県被災者支援）		72,765,183円	富 山 県
〃（被災3県支援）	147件	18,179,925円	日本赤十字社
令和6年9月能登半島大雨災害義援金	40件	546,306円	日本赤十字社
令和7年大船渡市赤崎町林野火災義援金	19件	228,342円	日本赤十字社
令和7年トカラ列島近海を震源とする地震災害義援金	11件	107,827円	日本赤十字社
令和7年台風第8号に伴う災害義援金	7件	61,750円	日本赤十字社
令和7年8月6日から的大雨災害義援金	10件	89,308円	日本赤十字社
令和7年台風第12号災害義援金	5件	37,832円	日本赤十字社
令和7年台風第15号災害静岡県義援金	9件	48,185円	日本赤十字社
令和7年台風第22号及び第23号災害義援金	2件	25,966円	日本赤十字社
令和7年11月18日大分市佐賀関の大規模火災義援金	7件	107,802円	日本赤十字社
令和7年青森県東方沖地震義援金	1件	14,903円	日本赤十字社
中東人道危機救援金	6件	19,078円	日本赤十字社
バングラディッシュ南部避難民救援金	1件	2,661円	日本赤十字社
ウクライナ人道危機救援金	6件	23,201円	日本赤十字社
2025年ミャンマー地震救援金	10件	126,905円	日本赤十字社
2025年アフガニスタン地震救援金	4件	15,393円	日本赤十字社
2025年パキスタン洪水救援金	2件	4,879円	日本赤十字社
令和7年度NHK海外たすけあい救援金（郵便振替利用分を含む）	810件	11,430,304円	日本赤十字社
合 計	1,321件	133,315,865円	

3 赤十字救急法等の講習

(1) 救 急 法

自らの健康安全と不慮の事故や災害で急病人やケガ人が出たとき、それ以上悪化させないように応急手当を施し、医師に引き渡すことができるように、知識と技術を学ぶもので、自然災害や交通事故等への対応を身につける必要性が重視されてきている。



例年、小中学校、企業その他の団体の要請に対し救急法指導員の資格を有するボランティア等を派遣し、それぞれの事業所等で講習を実施するほか、支部において一般対象の講習を開催している。

新型コロナウイルス後、人工呼吸の実技を除き、講習内容をより従来の形に戻しながら講習を進めた。

救急法講習実施状況

○短期講習

No.	期 日	市町村	実 施 場 所	対 象 者	受講者数
1	4 / 11	富山市	婦中行政サービスセンター	職員	5
2	4 / 15	富山市	富山大学教育学部附属学校園	教職員	41
3	4 / 16	富山市	新庄北地区センター	新庄北赤十字奉仕団	26
4	5 / 1	高岡市	能町小学校	教職員	27
5	5 / 10	高岡市	二塚小学校	児童・保護者	52
6	5 / 12	高岡市	牧野小学校	教職員	36
7	5 / 15	高岡市	高岡商業高校	教職員	16
8	5 / 16	富山市	アピアスポーツクラブ	職員	24
9	5 / 21	富山市	新保小学校	教職員	20
10	5 / 23	富山市	速星小学校	教職員	42
11	5 / 24	砺波市	砺波青少年自然の家	学生ボランティア	41
12	5 / 24	立山町	立山青少年自然の家	ボランティア養成セミナー受講者	31
13	5 / 26	高岡市	木津小学校	教職員	21
14	5 / 27	富山市	老田小学校	教職員	20
15	5 / 30	富山市	呉羽小学校	教職員・保護者	38
16	6 / 2	富山市	自治労とやま会館	介護職員	2
17	6 / 3	富山市	常願寺ハイツスポーツ公園	職員	17
18	6 / 3	立山町	林業カレッジ	林業就業者	8
19	6 / 3	富山市	東部小学校	教職員	24
20	6 / 3	富山市	太田小学校	教職員	12
21	6 / 3	富山市	速星公民館	プール管理者	63

No.	期 日	市町村	実 施 場 所	対 象 者	受講者数
22	6 / 4	富山市	柳町小学校	教職員・PTA	18
23	6 / 4	富山市	草島小学校	教職員	8
24	6 / 5	富山市	中央小学校	教職員	19
25	6 / 6	富山市	水橋中部小学校	教職員	13
26	6 / 6	富山市	宮野小学校	教職員	16
27	6 / 7	富山市	八幡小学校	教職員・保護者	25
28	6 / 9	富山市	萩浦小学校	教職員	13
29	6 / 9	富山市	大久保小学校	教職員・保護者	52
30	6 / 9	富山市	安全衛生教育センター	衛生管理受講者	90
31	6 / 9	富山市	古沢小学校	教職員	15
32	6 / 10	砺波市	市温水プール	職員	8
33	6 / 10	富山市	大庄小学校	教職員	20
34	6 / 10	富山市	速星公民館	養護教諭	43
35	6 / 10	富山市	新庄北小学校	教職員・PTA	26
36	6 / 11	富山市	新庄小学校	教職員・PTA	38
37	6 / 11	富山市	藤ノ木小学校	教職員	44
38	6 / 12	富山市	速星公民館	養護教諭	47
39	6 / 12	滑川市	寺家小学校	教職員	14
40	6 / 12	富山市	県総合教育センター	新規採用養護教諭	7
41	6 / 13	富山市	奥田北小学校	教職員	22
42	6 / 16	富山市	豊田小学校	教職員	40
43	6 / 16	高岡市	高岡西部小学校	教職員	32
44	6 / 17	高岡市	野村小学校	教職員	37
45	6 / 17	富山市	新庄北地区センター	PTA	20
46	6 / 18	富山市	浜黒崎小学校	教職員	16
47	6 / 18	富山市	広田小学校	教職員	20
48	6 / 18	富山市	山田小学校	教職員	9
49	6 / 20	富山市	山室中部小学校	教職員	18
50	6 / 20	富山市	蜷川小学校	教職員	40
51	6 / 20	高岡市	万葉小学校	教職員	15
52	6 / 21	富山市	三成小学校	教職員	60
53	6 / 24	富山市	光陽小学校	教職員	25
54	6 / 24	氷見市	氷見高校	教職員	40
55	6 / 25	富山市	針原小学校	教職員	20
56	6 / 25	富山市	五福小学校	教職員	19
57	6 / 27	射水市	新湊高校	教職員	20
58	6 / 28	射水市	新湊コミュニティセンター	新湊中央赤十字奉仕団	23
59	6 / 30	滑川市	早月中学校	教職員	21
60	7 / 1	上市町	生涯学習会館	上市町赤十字奉仕団	10
61	7 / 2	富山市	富山商業高校	生徒・教職員	43
62	7 / 4	高岡市	高岡商業高校	生徒	31
63	7 / 7	富山市	血液センター	中学生	4
64	7 / 8	富山市	速星公民館	プール監視アルバイト	5
65	7 / 11	射水市	射北中学校	生徒	110
66	7 / 14	富山市	堀川中学校	生徒	121
67	7 / 14	富山市	岩瀬小学校	教職員・保護者	13

No.	期 日	市町村	実 施 場 所	対 象 者	受講者数
68	7 / 14	魚津市	ミラージュランド	警察官	24
69	7 / 15	富山市	堀川中学校	生徒	116
70	7 / 15	富山市	富山ダイハツ販売 富山店	職員	23
71	7 / 16	富山市	堀川中学校	生徒	108
72	7 / 16	氷見市	ふれあいスポーツセンター	PTA	28
73	7 / 17	富山市	富山流通会館	職員	22
74	7 / 17	魚津市	トヨタモビリティ富山 魚津店	職員	8
75	7 / 22	富山市	高志支援学校	教職員	24
76	7 / 22	富山市	しらとり支援学校	教職員	85
77	7 / 23	富山市	新庄中学校	教職員	35
78	7 / 24	富山市	富山高校	教職員	18
79	7 / 24	富山市	水橋中学校	教職員	13
80	7 / 25	富山市	呉羽中学校	教職員	26
81	7 / 25	富山市	興南中学校	教職員	18
82	7 / 25	高岡市	トヨタモビリティ富山 中古車 garage 高岡商品化センター	職員	11
83	7 / 28	富山市	藤ノ木中学校	教職員	18
84	7 / 29	富山市	南部中学校	教職員	24
85	7 / 29	富山市	北部中学校松風分校	教職員	22
86	7 / 29	富山市	八尾中学校	教職員	25
87	7 / 31	富山市	堀川中学校	教職員	38
88	8 / 1 ~ 8	富山市	ウィンディ	職員	10
89	8 / 4	富山市	岩瀬中学校	教職員	22
90	8 / 13	富山市	県総合体育センター	バレーボールコーチ	26
91	8 / 21	富山市	山田中学校	教職員	11
92	9 / 17	富山市	上滝中学校	教職員	13
93	9 / 21	魚津市	新川学びの森天神山交流会館	地域住民	15
94	9 / 27	南砺市	上平交流センター	南砺市上平赤十字奉仕団	10
95	9 / 28	射水市	庄西コミュニティセンター	地域住民	20
96	10 / 6	黒部市	黒部国際文化センター	PTA	40
97	10 / 10	富山市	富士薬品富山工場	職員	11
98	10 / 14	富山市	富士薬品富山第2工場	職員	8
99	10 / 22	富山市	安全衛生教育センター	安全管理講習受講者	20
100	10 / 23	富山市	自治労とやま会館	介護職員	2
101	10 / 27	富山市	アピアスポーツクラブ	職員	30
102	10 / 28	富山市	常願寺ハイツスポーツ公園	職員	11
103	11 / 5	砺波市	出町中学校	PTA	40
104	11 / 15	富山市	八尾小学校	児童	95
105	11 / 16	砺波市	砺波青少年自然の家	スキーパトロール	6
106	11 / 17	富山市	山田中学校	生徒	7
107	11 / 19 ~ 21	富山市	富山市民球場	自動車教習所指導員	20
108	11 / 28	立山町	林業カレッジ	林業就業希望者	8
109	12 / 2	黒部市	JX 金属三日市リサイクル	職員	22
110	12 / 3	富山市	安全衛生教育センター	安全管理講習受講者	20
111	12 / 11	富山市	くれは陽光苑	介護職員	29
112	12 / 18	富山市	自治労とやま会館	介護職員	2
113	12 / 19	射水市	小杉南中学校	生徒	68

No.	期 日	市町村	実 施 場 所	対 象 者	受講者数
114	12／24	富山市	大門高校	教職員	17
115	1／30	富山市	八尾中学校	生徒	112
116	2／10	富山市	富山高校	生徒	143
117	2／14	富山市	新保小学校	児童・保護者	20
118	2／17	富山市	富山高校	生徒	73
119	2／20	砺波市	イオンモールとなみ	従業員	48
120	3／5	富山市	マリエ献血ルーム	職員	7
121	3／5	富山市	血液センター	職員	16
122	3／9	富山市	マリエ献血ルーム	職員	6
123	3／9	富山市	血液センター	職員	7
124	3／13	富山市	富士薬品富山第2工場	職員	20
125	3／13	富山市	朝日ケア	介護職員	25
合 計					3,662

○救急員養成講習

No.	期 日	日数	市町村	実 施 場 所	対 象 者	受講者数
1	4／22・23	2	富山市	県警察学校	警察官	10
2	5／3・4	2	富山市	日赤富山県支部	一般	5
3	8／16・17	2	富山市	日赤富山県支部	一般	10
4	10／18・25	2	富山市	日赤富山県支部	一般	14
5	12／13・20	2	富山市	日赤富山県支部	一般	11
6	2／12・13	2	富山市	県総合体育センター	一般	24
7	3／28・29	2	富山市	日赤富山県支部	一般	23
合 計		14				97

○基礎講習

No.	期 日	日数	市町村	実 施 場 所	対 象 者	受講者数
1	4／21	1	富山市	県警察学校	警察官	10
2	4／29	1	富山市	日赤富山県支部	一般	20
3	7／12	1	富山市	日赤富山県支部	一般	22
4	8／10	1	富山市	日赤富山県支部	一般	17
5	9／6	1	富山市	日赤富山県支部	一般	11
6	10／4	1	富山市	日赤富山県支部	一般	10
7	11／8	1	富山市	日赤富山県支部	一般	11
8	12／6	1	富山市	日赤富山県支部	一般	13
9	2／5	1	富山市	県総合体育センター	一般	24
10	3／21	1	富山市	日赤富山県支部	一般	17
合 計		10				155

(2) 水上安全法

水の事故といえば、すぐにプールや海水浴を思い浮かべるが、水による事故のほとんどは水泳中以外に発生している。水上安全法の目的は、尊い命を水の事故から守るために、主として事故防止と自己保全、そして溺れた人を安全に救助する方法を習得することにある。



児童に対する着衣泳講習の普及に努めた。

水上安全法講習実施状況

○短期講習

No.	期日	市町村	実施場所	対象者	受講者数
1	5/20	高岡市	県高岡総合プール	職員	19
2	6/4	砺波市	庄川健康プラザ	職員	10
3	6/5	富山市	県総合体育センター	新任教職員	105
4	6/23	富山市	県総合体育センター	教職員他	20
5	6/29	射水市	海竜スポーツランド	会員	20
6	7/9	富山市	東富山温水プール	職員	20
7	7/9	高岡市	二塚小学校	児童	22
8	7/14	南砺市	上平小学校	児童・教職員	59
9	7/15	高岡市	成美小学校	児童	56
10	7/16	富山市	速星小学校	児童	112
11	7/17	富山市	県総合体育センター	消防学校初任科生	40
12	7/18	富山市	古沢小学校	児童	57
13	7/24	魚津市	室内温水プール	職員	13
14	9/10	富山市	県総合体育センター	警察学校初任科生	26
15	12/24	富山市	県総合体育センター	警察学校初任科生	18
合 計					597

○救助員Ⅰ養成講習

No.	期 日	日数	市町村	実施場所	対象者	受講者数
1	9/21・22・23	3	富山市	市民プール	一般	7
合 計		3				7

(3) 健康生活支援講習

誰もが高齢期を健やかに過ごせるよう、必要な健康増進の知識や高齢者の支援・自立に向けて、役立つ介護支援技術を習得することを目的に実施した。

「災害時高齢者生活支援講習」を短期講習として開催し、地域の防災・減災意識を高めるとともに、1人でも多くの人が高齢者や認知症の人、その家族の支援者となり、安心して暮らせる地域づくりにつながることを期待している。

講習科目及び時間

講習区分	講習科目	講習時間
健康生活支援講習 支援員養成講習	1 高齢者の健康と安全のために 2 地域における高齢者支援に役立つ知識と技術 3 日常生活の具体的な介護の知識と技術	12時間
災害時高齢者生活支援講習 (短期講習)	1 災害について 2 災害が高齢者に及ぼす影響 3 接するときのこころづかい 4 気をつけたい病気や症状 5 知って役立つ技術 6 ボランティアの心得	2時間
地域で支える認知症 (短期講習)	1 認知症とは 2 認知症の主な症状 3 認知症の人への対応 4 予防と早期発見 5 家族の理解と支援 6 地域で支えるために	1.5時間
健康生活支援講習短期講習	支援員養成科目から一部抽出	必要とする時間

健康生活支援講習実施状況

○短期講習

No.	期日	市町村	実施場所	対象者	受講者数
1	4 / 8	立山町	寺田公民館	地域住民	15
2	4 / 13	南砺市	井波社会福祉センター	井波赤十字奉仕団	40
3	4 / 25	舟橋村	舟橋会館	舟橋村赤十字奉仕団	20
4	6 / 6	朝日町	町文化体育センター	朝日町赤十字奉仕団	36
5	7 / 1	上市町	町生涯学習会館	上市町赤十字奉仕団員	10
6	7 / 11	高岡市	伏木高校	生徒	14
7	7 / 30	富山市	栗島ふれあい会館	富山県瓦工事業協同組合員	40
8	9 / 9	魚津市	大海寺新公民館	桃山いきいきサロン会員	17
9	10 / 4	富山市	健保富山会館	健保連富山連合会会員	57
10	1 / 29	富山市	龍谷富山高校	福祉コース生徒	16
11	2 / 18	上市町	町保健福祉総合センター	上市町赤十字奉仕団員	20
合 計					285

○災害時高齢者生活支援講習

No.	期日	市町村	実 施 場 所	対 象 者	受講者数
1	5 / 19	高岡市	高岡向陵高校	生徒・教職員	40
2	6 / 20	富山市	日赤富山県支部	いずみ高校看護科 生徒・教職員	41
3	7 / 3	富山市	いずみ高校	いずみ高校看護科 生徒・教職員	40
4	7 / 16	富山市	四方公民館	奉仕団員・小学生	40
5	10 / 2	富山市	西田地方公民館	地域住民	25
6	1 / 21	富山市	ドラッグセイムス神通本町店	地域住民	10
合 計					196

○支援員養成研修

No.	期日	市町村	実 施 場 所	対 象 者	受講者数
1	8 / 28・29	富山市	富山赤十字病院	職員	5
2	9 / 27・28	富山市	日赤富山県支部	一般	5
3	12 / 8・9	富山市	日赤富山県支部	一般	3
合 計					13

(4) 幼児安全法

子どもが家庭や地域で安全に健やかに育っていくように、子どもに起こりやすい事故の防止と手当の方法、家庭内での看病の方法や災害時の乳幼児支援など、地域生活の中で役立つ知識や技術を学ぶものであり、次のとおり実施した。

少子化の下で本講習を契機に社会全体で子どもを育てていくという機運を高めるため、更なる普及に努める。

講習科目及び時間

講 習 区 分	講 習 科 目	講習時間
幼 児 安 全 法 支 援 員 養 成 講 習	1 赤十字幼児安全法について 2 子どもの成長発達と事故予防 3 子どもの応急手当 4 子どもの病気と看病の仕方 5 地域の子育て支援 ～社会全体で子どもを大切に育てるために～	12時間
幼 児 安 全 法 短 期 講 習	支援員養成講習の科目から一部抽	必要とする時間

※ 幼児安全法支援員養成講習の受講資格は、満15歳以上の者

幼児安全法講習実施状況

○短期講習

No.	期日	市町村	実 施 場 所	対 象 者	受講者数
1	4／18	富山市	山田保育所	保護者	20
2	5／9	富山市	星井町公民館	ファミサポセンター会員	5
3	5／15	富山市	県総合体育センター	新採幼稚園・保育教諭	35
4	5／21	富山市	恵光学園	保護者・職員	30
5	5／28	富山市	富山赤十字病院	親子・職員	8
6	6／11	富山市	市子育て支援センター	ファミサポセンター会員	20
7	6／12	魚津市	魚津市健康センター	保護者	25
8	6／19	富山市	藤ノ木こども園	保護者・職員	22
9	6／23	富山市	とよた学童クラブみどりの家	学童クラブ指導員	16
10	6／26	高岡市	ふれあい福祉センター	保育補助者	20
11	7／8	射水市	市民交流プラザ	ファミサポセンター会員	25
12	7／10	射水市	市民交流プラザ	ファミサポセンター会員	17
13	7／10	高岡市	こどものその	保護者	11
14	7／11	富山市	奥田公民館	保育補助者	15
15	7／15	高岡市	こどものその	保護者	16
16	7／16	砺波市	市役所	保育士・保育教諭	15
17	7／17	富山市	大久保ふれあいセンター	ファミサポセンター会員	11
18	7／17	南砺市	福光児童館	ファミサポセンター会員	15

No.	期日	市町村	実 施 場 所	対 象 者	受講者数
19	7／18	砺波市	出町児童センター	児童厚生員	10
20	7／24	滑川市	市民交流プラザ	保育補助者	14
21	7／28	氷見市	余川営農研修会館	親子・子育てサークルスタッフ	10
22	8／5	富山市	五福公民館	ファミサポセンター会員	8
23	8／23	立山町	新川公民館	子育てサロンスタッフ	15
24	8／26	富山市	市子育て支援センター	乳幼児とその保護者	50
25	8／28	高岡市	高岡ふれあい福祉センター	保育補助者	6
26	9／2	舟橋村	子育て支援センター	親子サークル・職員	25
27	9／3	砺波市	庄東子育て支援センター	乳幼児とその保護者	10
28	9／8	富山市	五福公民館	ファミサポセンター会員	8
29	9／10	立山町	岩嶺公民館	親子・子育てサロンスタッフ	20
30	10／7	富山市	ウェスキーラボ富山校	職員	11
31	10／15	富山市	大広田公民館	ファミサポセンター会員	5
32	10／31	富山市	山室公民館	山室校下保健推進員会員	20
33	11／11	富山市	青い鳥保育園	教員	22
34	11／14	氷見市	氷見ひかり保育園	親子・子育てサークルスタッフ	27
35	11／16	富山市	婦中ふれあい館	ファミサポセンター会員	8
36	11／21	魚津市	つばめ児童センター	ファミサポセンター会員	5
37	11／26	富山市	富山赤十字病院	親子	10
38	11／27	魚津市	健康センター	親子	20
39	12／4	富山市	堀川公民館	ファミサポセンター会員	8
40	12／13	富山市	桜谷保育園	職員	25
41	12／18	高岡市	高岡第一学園幼稚園教諭・保育士養成所	学生	17
42	1／23	立山町	元気交流ステーション	親子・保健センター職員	20
43	2／26	氷見市	阿尾コミュニティーセンター	親子・子育てサークルスタッフ	16
44	3／9	富山市	県立乳児院	職員	24
45	3／10	富山市	県立乳児院	職員	
46	3／11	富山市	県立乳児院	職員	
47	3／13	富山市	県立乳児院	職員	
48	3／16	富山市	県立乳児院	職員	
49	3／18	富山市	県立乳児院	職員	
合 計					740

○ 支援員養成講習

No.	期 日	日 数	市町村	実 施 場 所	対象者	受講者数
1	6／14・21	2	富山市	日赤富山県支部	一般	8
2	11／1・2	2	富山市	日赤富山県支部	一般	8
3	3／1・2	2	富山市	日赤富山県支部	一般	8
合 計						24

○指導員養成講習

No.	期 日	日数	市町村	実 施 場 所	対象者	受講者数
1	11／20・23 12／5・10・17・24 1／18	7	富山市	日赤富山県支部	支援員(職員)	5
合 計						5

市町村別講習一覧

市町村	養成講習					基礎講習	短期講習					
	幼児安全法指導員	救急法救急員	水上安全法救助員	健康生活支援員	幼児安全法支援員	救急法	救急法	水上安全法	健康生活支援	災害時高齢者支援	地域で支える認知症	幼児安全法
富山市		1				1	90	9	3	5		27
高岡市							10	2	1	1		5
射水市							6	1				2
魚津市							3	1	1			3
氷見市							2					3
滑川市							2					1
黒部市							2					
砺波市							5	1				3
小矢部市												
南砺市							1	1	1			1
朝日町									1			
入善町												
舟橋村									1			1
上市町							1		2			
立山町							3		1			3
小計	0	1	0	0	0	1	125	15	11	6	0	49
その他				1								
県支部	1	6	1	2	3	9						
合計	1	7	1	3	3	10	125	15	11	6	0	49

4 赤十字奉仕団

赤十字奉仕団は、赤十字の人道・博愛の精神のもとに、赤十字の使命とする人道的な諸活動を実践しようとする人々が集まって結成されたボランティアの組織である。

奉仕団には、一定の地域ごとに組織された「地域赤十字奉仕団」、18歳～30代の社会人や学生によって組織された「青年赤十字奉仕団」、災害救援・点訳など特殊な技能を持った人達で組織された「特殊赤十字奉仕団」がある。

富山県支部においては、地域奉仕団が県内15市町村で49団のほか、青年奉仕団1団と、特殊奉仕団（点訳、災害救援、病院、ともしび、無線、青少年赤十字賛助）6団が結成されており、約3,000人の団員が幅広いボランティア活動を行った。

(1) 赤十字奉仕団結成状況

ア 地域奉仕団

No.	奉仕団名	市町村	結成年月日	委員長氏名	分団	班	男性	女性	合計
1	柳町赤十字奉仕団	富山市	S47.8.29	休 団	—	—	—	—	0
2	蜷川赤十字奉仕団		S47.11.2	辻 陽子	7	0	1	80	81
3	清水町赤十字奉仕団		S50.6.24	大野木秀雄	0	0	8	30	38
4	愛五赤十字奉仕団		S53.3.7	紺道 洋子	0	2	1	20	21
5	白菊赤十字奉仕団		S53.4.22	中村ひとみ	0	0	1	34	35
6	四方赤十字奉仕団		S54.2.15	任海 哲朗	0	0	5	85	90
7	新庄赤十字奉仕団		S55.5.30	今井 佳子	0	8	17	35	52
8	安野屋赤十字奉仕団		S61.5.1	長谷 芳子	0	0	0	16	16
9	山室赤十字奉仕団		S62.6.20	大野 幸恵	8	0	4	79	83
10	堀川南赤十字奉仕団		H4.6.29	休 団	—	—	—	—	0
11	新庄北赤十字奉仕団		H26.4.2	平野 桂子	0	8	12	51	63
12	大山赤十字奉仕団	富山市大山	S57.12.9	市川千賀子	0	0	0	40	40
13	八尾町赤十字奉仕団	富山市八尾	S53.4.21	岡崎 智子	9	0	0	127	127
14	婦中赤十字奉仕団	富山市婦中	S54.9.26	竹内 久子	8	0	0	51	51
15	山田赤十字奉仕団	富山市山田	S57.8.6	今井 節子	0	0	0	23	23
16	高岡南部丸美赤十字奉仕団	高岡市	S42.7.10	金田 桜子	5	0	4	51	55
17	伏木赤十字奉仕団		S51.9.28	針山 健史	6	0	18	73	91
18	中田赤十字奉仕団		S52.9.2	高桑 恭子	0	4	1	35	36
19	高岡中央赤十字奉仕団		S53.10.20	多田 尚子	0	11	1	100	101
20	福岡町赤十字奉仕団		S58.7.3	石田真由美	0	0	1	46	47
21	魚津市赤十字奉仕団	魚津市	S54.12.7	水田万輝子	4	0	1	67	68
22	朝日丘赤十字奉仕団	氷見市	S52.8.9	休 団	—	—	—	—	0

No.	奉仕団名	市町村	結成年月日	委員長氏名	分団	班	男性	女性	合計
23	東 赤 十 字 奉 仕 団	氷見市	S 52. 11. 5	休 団	—	—	—	—	0
24	十 二 町 赤 十 字 奉 仕 団		H 15. 10. 5	森越美智子	0	0	0	20	20
25	窪 赤 十 字 奉 仕 団		H 16. 10. 2	東海喜美子	0	0	0	25	25
26	滑 川 市 赤 十 字 奉 仕 団	滑川市	S 57. 5. 1	石原 雅雄	0	0	2	51	53
27	宇 奈 月 赤 十 字 奉 仕 団	黒部市	S 47. 3. 10	清水 晴乃	0	0	0	15	15
28	黒部市石田赤十字奉仕団		S 57. 7. 20	篠崎 善子	0	0	0	33	33
29	砺 波 市 赤 十 字 奉 仕 団	砺波市	S 57. 3. 24	岡部 紀子	0	6	4	234	238
30	庄 川 町 赤 十 字 奉 仕 団		S 58. 11. 13	大井千津子	0	0	43	101	144
31	小 矢 部 市 赤 十 字 奉 仕 団	小矢部市	S 59. 2. 15	中西 順子	0	0	0	53	53
32	南 砺 市 福 野 赤 十 字 奉 仕 団	南砺市	S 52. 10. 26	斉藤 悦子	0	0	0	42	42
33	南 砺 市 福 光 赤 十 字 奉 仕 団		S 53. 6. 14	上島いづみ	0	0	0	48	48
34	南 砺 市 井 波 赤 十 字 奉 仕 団		S 55. 6. 6	岩城美智恵	4	0	10	74	84
35	南 砺 市 城 端 赤 十 字 奉 仕 団		S 60. 2. 27	大宅 京子	0	0	3	33	36
36	南 砺 市 井 口 赤 十 字 奉 仕 団		H 1. 3. 12	今井 静枝	0	0	1	33	34
37	南 砺 市 平 赤 十 字 奉 仕 団		H 1. 12. 17	沼前とも枝	0	0	0	25	25
38	南 砺 市 上 平 赤 十 字 奉 仕 団		H 2. 10. 14	北田 祥子	0	4	3	18	21
39	南 砺 市 利 賀 赤 十 字 奉 仕 団		H 3. 4. 18	高桑 真琴	0	0	0	19	19
40	下 村 赤 十 字 奉 仕 団	射水市	S 46. 12. 8	竹苗 典子	0	0	0	10	10
41	射水市大江赤十字奉仕団		S 53. 7. 6	岩脇 明美	0	5	0	91	91
42	大 門 町 赤 十 字 奉 仕 団		S 56. 9. 24	休 団	—	—	—	—	0
43	射水市大島赤十字奉仕団		S 56. 12. 21	杉岡美恵子	0	0	0	45	45
44	新 湊 中 央 赤 十 字 奉 仕 団		H 9. 2. 19	米島 敏子	0	7	1	79	80
45	入 善 町 赤 十 字 奉 仕 団	入善町	S 51. 3. 27	小林あゆみ	10	0	2	103	105
46	朝 日 町 赤 十 字 奉 仕 団	朝日町	S 51. 4. 18	井口 一美	10	0	2	159	161
47	舟 橋 村 赤 十 字 奉 仕 団	舟橋村	S 58. 6. 10	老田ひさ子	0	0	0	42	42
48	上 市 町 赤 十 字 奉 仕 団	上市町	S 56. 11. 30	深川 紀子	0	0	0	32	32
49	立 山 町 赤 十 字 奉 仕 団	立山町	S 57. 5. 19	信濃 光子	12	0	30	173	203
合 計							176	2,601	2,777

イ 青年奉仕団

No.	奉仕団名	結成年月日	委員長氏名	分団	班	男性	女性	合計
1	富 山 県 青 年 赤 十 字 奉 仕 団	S 61. 3. 15	藤崎 啓介	0	0	2	4	6
合 計						2	4	6

ウ 特殊奉仕団

No.	奉仕団名	結成年月日	委員長氏名	分団	班	男性	女性	合計
1	富山赤十字点訳奉仕団	S 35. 6. 19	西尾 哲子	0	0	0	7	7
2	富山赤十字災害救援奉仕団	S 50. 12. 22	休 団	—	—	—	—	0
3	富山赤十字病院奉仕団	S 53. 7. 16	岡本由美子	0	0	0	3	3
4	ともしび赤十字奉仕団	S 60. 3. 30	滝口美枝子	0	0	0	49	49
5	富山県無線赤十字奉仕団	H 13. 10. 15	山口 康司	0	0	36	12	48
6	富山県青少年赤十字賛助奉仕団	H 14. 1. 16	小林 福治	0	0	19	8	27
合 計						55	79	134

(2) 赤十字奉仕団富山県支部委員会常任委員会役員（令和7年4月～令和9年3月）

名誉委員長 山下 和夫（伏木赤十字奉仕団名誉委員長）
 名誉委員長 岡崎 智子（八尾赤十字奉仕団委員長）
 委員長 中西 順子（地域奉仕団・砺波地区選出）（小矢部市赤十字奉仕団委員長）
 副委員長 中村ひとみ（地域奉仕団・富山地区選出）（白菊赤十字奉仕団委員長）
 〳 金田 桜子（地域奉仕団・高岡地区選出）（高岡南部丸美赤十字奉仕団委員長）
 〳 小林あゆみ（地域奉仕団・新川地区選出）（入善町赤十字奉仕団委員長）
 〳 大宅 京子（地域奉仕団・砺波地区選出）（南砺市城端赤十字奉仕団委員長）
 〳 滝口美枝子（特殊奉仕団選出）（ともしび赤十字奉仕団委員長）
 常任委員 任海 哲朗（地域奉仕団・富山地区選出）（四方赤十字奉仕団委員長）
 〳 杉岡美恵子（地域奉仕団・高岡地区選出）（射水市大島赤十字奉仕団委員長）
 〳 老田ひさ子（地域奉仕団・新川地区選出）（舟橋村赤十字奉仕団委員長）

山下名誉委員長におかれましては、令和8年3月28日にご逝去されました。

(3) 主な奉仕団関係行事

実施日	事業名	摘要
3月～6月	各赤十字奉仕団総会	県内各地 支部職員24団に出席
4/23	赤十字奉仕団富山県支部委員会	呉羽ハイツ 44名出席
5月～	赤十字運動月間キャンペーンPR活動 (6月以降) 赤十字広報PR活動	37/44奉仕団 各地区ショッピングセンター等で実施 ティッシュ・チラシ 11,080部を配布
5月～	在宅ひとり暮らし高齢者訪問活動	44/44奉仕団 各地区で実施 (手紙用紙7,342枚印刷) ティッシュペーパー 高齢者8,020名を訪問
5/13	全国赤十字大会	明治神宮会館 奉仕団員8名参会
5/17	第1回青年赤十字奉仕団全国協議会	日赤本社 (Web) 古澤団員出席
5/18	赤十字奉仕団研修部会・常任委員会	日赤県支部 14名出席
5/22	富山県水防協議会	富山県庁 中西委員長出席
5/25	赤十字奉仕団研修会 (富山地区、青年・特殊対象)	日赤県支部 45名出席
5/26～28	赤十字月間社資DM発送作業奉仕	日赤県支部 白菊奉、新庄北奉 延べ31名協力
5/28	赤十字奉仕団研修会 (新川地区)	魚津もくもくホール 27名出席
6/5	赤十字奉仕団研修会 (砺波地区)	チューリップ四季彩館 27名出席
6/8	日本赤十字社富山県支部評議員会	A N Aクラウンプラザホテル 金田委員長、竹苗委員長、中村委員長、 任海委員長、中西委員長 (各市から選出)
6/11	赤十字奉仕団研修会 (高岡地区)	高岡市里山交流センター 27名出席
6/16	赤十字奉仕団担当者研修会	日赤本社 清水主任出席
6/17～18	日本赤十字社第3ブロック 青少年赤十字賛助奉仕団協議会	三重県 小林委員長出席
6/21～22	日本赤十字社第3ブロック青年赤十字奉 仕団代表者及び支部担当者会議	サンフォルテ、四季防災館 団員4名、坂井事務局付部長、 富澤参事、清水主任出席
6/26	支部施設合同災害救護訓練	富山赤十字病院 八尾町・婦中・山田・下村・射水市大江 射水市大島・新湊中央奉 各1～2名、 中西委員長協力
7/3～4	赤十字奉仕団中央委員会	日赤本社 中西委員長出席
7/8～9	全国青少年赤十字賛助奉仕団総会	日赤本社 小林委員長出席
8/6～7	青少年赤十字トレーニングセンター	砺波青少年の家 青少年赤十字賛助奉 延べ4名協力
9/4～5	日本赤十字社第3ブロック 赤十字奉仕団委員長及び担当者会議	日赤県支部 (福井県支部当番) 中西委員長、清水主任出席
9/28	富山県総合防災訓練	南砺市他 南砺市城端奉、無線奉参加
9/30 ～10/1	赤十字奉仕団研修旅行	大阪・関西万博、京都府 17団40名参加
10/7	第37回富山県民ボランティア・NPO 大会	富山市民プラザ アンサンブルホール ボランティア活動推進富山県民会議会長表彰 清水委員長、森越委員長、青年奉受章
10/16	赤十字奉仕団常任委員会	日赤県支部 7名出席

実施日	事業名	摘要
11／7	朝日町赤十字奉仕団結成50周年記念講演会	五叉路クロスファイブ 講師 青少年赤十字賛助奉 小林委員長
11／8～9	赤十字防災教育事業指導者養成研修	高岡市里山交流センター 7団10名養成
11／11	赤十字奉仕団委員長会議	呉羽ハイツ 41名出席
11／15～16	赤十字防災教育事業指導者養成研修	日赤県支部 14団16名養成
12／1～25	NHK海外たすけあい	31／54団協力 県内実績 810件 11,430,304円
12／12	赤十字奉仕団とやま41号編集委員会	日赤県支部 7名出席
1／17	第2回青年赤十字奉仕団全国協議会	日赤本社（Web） 藤崎委員長出席
2／3	日本赤十字社富山県支部評議員会	A N Aクラウンプラザホテル 中西委員長、金田委員長、中村委員長、 任海委員長
2／27	赤十字奉仕団常任委員会	日赤県支部 7名出席
2／27	赤十字奉仕団とやま41号編集委員会	日赤県支部 7名出席

－活動推進奉仕団指定（支部指定）－

◇南砺市福野赤十字奉仕団

テーマ ー

タイトル 「赤十字の理想を達成する為の奉仕団員の育成と奉仕活動の見直し」

◇富山赤十字点訳奉仕団

テーマ 広報

タイトル 「点字を知って名刺を作ろう」

－奉仕団とやま41号（令和7年度号）編集委員－

金田（高岡南部丸美）、大宅（南砺市城端）、小林（入善町）、杉岡（射水市大島）、
任海（四方）、市川（大山）、北田（南砺市上平）、平野（新庄北）

－令和7年度献血実績－

令和7年度目標		令和7年度実績
497人	(200mL)	1,348人
25,264人	(400mL)	26,339人
10,288人	(成分)	11,269人

(4) 奉仕団活動内容

ア 地域奉仕団

- 青少年赤十字との連携活動 ○ 街頭献血の呼びかけ
- 施設訪問（除草・花苗植え） ○ 炊き出し訓練
- 赤十字社資募集
- 国内外災害等の義・救援金の募集
- 救護（イベント等）
- 救急法・健康生活支援講習等安全講習の受講
- 在宅ひとり暮らし高齢者訪問 ○ 交通安全指導
- 交通安全マスコット人形作り
- 病院案内等ボランティア
- NHK海外たすけあい募集

イ 青年奉仕団

- 街頭献血の呼びかけ ○ 子ども食堂の運営補助

ウ 特殊奉仕団

◎ 富山赤十字点訳奉仕団

- 視覚障害者の福祉に理解と熱意を有する団員が、わずかな余暇をさいて1冊でも多くの本を点訳しようと努力している。
- 令和7年度はパソコンによる点訳図書データ26タイトルを作成、富山視覚支援総合学校へ贈呈した。
- 日赤県支部において点訳個人指導および点字校正を実施した。

◎ 富山赤十字病院奉仕団

週2回病院の1室において、ガーゼたたみ、綿球作り、手術材料作り等の奉仕作業を行った。

◎ ともしび赤十字奉仕団

富山赤十字病院受付にて総合案内、イベント等への臨時救護奉仕、研修等を積極的に行った。

◎ 富山県無線赤十字奉仕団

富山県総合防災訓練をはじめ、災害に備え他県のアマチュア無線家と通信訓練を行うため研修を行った。

◎ 富山県赤十字青少年赤十字賛助奉仕団

県内小・中・高校等を訪問し、青少年赤十字の加盟普及・活動促進を行った。



(5) 赤十字奉仕団活動に基づく表彰

● 金色有功章（継続20年）

【奉仕団委員長】

竹苗 典子（下村）

● 銀色有功章（継続15年）

【奉仕団委員長】

清水 晴乃（宇奈月）

小林 福治（青少年赤十字賛助）

● 金柶感謝状（継続10年）

【奉仕団委員長】

深川 紀子（上市町）

● 銀柶感謝状（継続5年）

【奉仕団委員長】

岡本 由美子（病院）

5 青少年赤十字（Junior Red Cross）

青少年赤十字（JRC）は、将来を担う青少年が赤十字を正しく理解するとともに、進んで赤十字運動に参加し、一人ひとりが世界の平和と人類の福祉に貢献できるように、青少年自身が日常生活の中で、望ましい人格と精神を自ら形成することを目的として、学校に組織され活動している。

この目的を達成するため、次の三つの実践目標と態度目標のもと、人間性豊かな児童生徒を育てる教育活動の一つとして取り組んでいる。

実践目標

① 健康・安全

命と健康の大切さを学び、人間尊重の精神を養うことを目指す。

② 奉仕

人間として、集団生活（社会）の中の一人としての社会的な責任を自覚し、人のために奉仕する心と実行力を養う。

③ 国際理解・親善

広く世界の青少年を知り、仲良く助け合う精神を養う。

態度目標 「気づき、考え、実行する」

自らの生活または社会の問題やニーズに「気づき」、その原因と解決のための道筋や方法を「考え」、問題解決のために具体的な活動を「実行する」ことの大切さを意識づけることを目指している。

本年度は247校の加盟校、53,624人のメンバーを有し、各校先生方の指導のもとに一層の充実発展に努めた。

(1) 青少年赤十字加盟状況

校 種	校 数	メンバー数
幼稚園・保育園	13	1,111
小 学 校	136	26,919
中 学 校	73	21,818
義務教育学校	4	410
高 等 学 校	16	3,186
特別支援学校	5	180
計	247	53,624

(令和7年度学校統合等状況)

- ・射水市立放生津小学校（加盟校）
 - ・射水市立新湊小学校（加盟校）
- 射水市立新湊放生津小学校（加盟校）へ統合

市町村別加盟校数

市町村	小学校	中学校	義務教育 学 校	高等学校	幼稚園 保育園	特別支援 学 校	計
富 山 市	59	26		5	3	3	96
高 岡 市	20	11	1	6	9	1	48
射 水 市	14	6			1		21
魚 津 市		2		1			3
氷 見 市	9	4	1	1			15
滑 川 市	4	2					6
黒 部 市	4	2					6
砺 波 市	5	4				1	10
小 矢 部 市	2	4					6
南 砺 市	1	6	2	1			10
入 善 町	3	2		1			6
朝 日 町	2	1					3
舟 橋 村	1	1					2
上 市 町	6	1		1			8
立 山 町	6	1					7
合 計	136	73	4	16	13	5	247

令和8年3月31日現在

— 32 —

(2) 富山県青少年赤十字指導者協議会役員

会 長 高信 智加子（射水市立射北中学校校長）

副会長 小島 秀樹 （射水市立塚原小学校校長）

〃 徳前 紀和 （県立氷見高等学校校長）

(3) 講習会等の開催

ア 指導者のために行ったもの

メンバーの活動が自主的、かつ、活発に行われるためには、指導者の赤十字に対する深い理解と認識にもとづく適切な指導が必要である。

支部では、青少年赤十字に関する研究会や講習会への参加をすすめ、指導者の育成に努めている。

1) 本社主催

月 日	行事名	開催地	参加者
5／30～ 6／1	青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター指導者養成講習会	東京都	石井 龍之介（射北中）
7／4	青少年赤十字全国指導者協議会	日赤本社 他	会長 高信 智加子
8／6	指導主事対象青少年赤十字活動研究会	日赤本社	石倉 博美 （東部教育事務所主任指導主事）

2) ブロック主催

・第3ブロック指導者協議会

6月20日、長野県主催により Web 形式で開催され、高信会長、支部職員が参加し、情報交換並びに青少年赤十字活動普及方策について協議した。

3) 支部主催

・富山県青少年赤十字指導者協議会理事会・総会

5月29日、富山県支部を会場に開催し、活動実践校の指定やトレセンの開催などすべての議案は承認された。（出席理事等25人、ほか委任状）

・青少年赤十字活動研究会

1月20日、参集形式により、県下小、中、高等学校から38名の指導者が参加し、学校教育における青少年赤十字の普及について研究した。

講 演 「人道や平和の意味に気づき、自分にできることを考え、実行する」
～赤十字の人道支援活動と青少年赤十字～

講 師 森 正尚（本社 ボランティア活動推進室長）

実践発表 「学校教育と J R C ～思いやりの持続可能性

(気づき・考え・実行する) ～」

発表校 富山市立広田小学校 高岡市立下関小学校
滑川市立早月中学校 射水市立射北中学校

イ メンバーのために行ったもの

1) 本社主催

・ 青少年赤十字スタディー・センター

J R C 活動の中心となるリーダーを養成するため、5 日間の日程で山中湖畔を会場に開催した。

2) 支部主催

・ リーダーシップ・トレーニング・センター

例年、県内の青少年赤十字加盟校より、小・中・高等学校別に参加者を募り、青少年赤十字のリーダー養成を目的として実施しており、1 泊 2 日の日程で、次のとおり実施した。

また、メンバーの指導にあたった指導者（教員）は、小・中・高合わせて 33 名の参加となった。

校 種	会 場	参加人数	月 日	備 考
小 学 校	砺波青少年自然の家	16人	8 / 6 ～ 7	1 泊 2 日
中 学 校		32人		
高等学校		10人		
計		58人		

(4) 青少年赤十字活動実践校

青少年赤十字加盟校における活動の活性化を図ることを目的として、年間10校程度を指定し、各校のボランティア活動等既存の取組みも含め J R C の実践・態度目標に沿った活動を促進し、これを広く紹介することで青少年赤十字が学校教育に取り入れやすくなるよう努めている。

令和 7 年度指定校

・ 富山市立広田小学校 ・ 富山市立蜷川小学校 ・ 高岡市立下関小学校
・ 南砺市立上平小学校 ・ 滑川市立早月中学校 ・ 富山市立和合中学校
・ 射水市立射北中学校 ・ 南砺市立城端中学校 ・ 高岡向陵高等学校

実践報告集の発行 令和 8 年 3 月

(5) 富山県青少年赤十字賛助奉仕団

次のとおり青少年赤十字の育成・支援に協力した。

月 日	行 事 名	場 所	備 考
7 / 8～9	全国青少年赤十字賛助奉仕団協議会総会	日赤本社	委員長
8 / 6～7	青少年赤十字トレーニング・センター協力	砺波青少年自然の家	団員 5 名

(6) 青少年赤十字防災教育事業

青少年赤十字では、実践目標の一つである「健康・安全」のもと、防災教育を通して、自然災害から青少年が自らの健康と安全を守り、また、学校、地域、家庭での防災意識を高めることにより、一人ひとりが人間のいのちと健康、尊厳を守ることにつながるよう、プログラム及び教材の開発、研究を進めている。

日本赤十字社は、小・中・高校生を対象とした防災教育プログラム「まもるいのち ひろめるぼうさい」及び幼稚園・保育園向けの「ぼうさいまちがいさがし きけんはっけん!」を作成し、加盟校への配付や研修会での活用を行っている。

(7) 青少年赤十字国際交流事業

日本赤十字社では、青少年赤十字の実践目標の一つである「国際理解・親善」を図るため、2年ごとにアジア・大洋州などの赤十字姉妹社からメンバーを招聘している。

今回は20の国と地域から40名のユースメンバーが来日し、富山県にはモンゴルからメンバー2名とモンゴル赤十字社職員1名の計3名が10月25日から同月30日までの6日間滞在した。



射水市立射北中学校では、2年生のクラスで「赤十字防災セミナー」を一緒に受講したり、高岡向陵高校ではeスポーツ部、相撲部、レスリング部で部活動を体験したりした。

また、能登半島地震の被災地である高岡市や氷見市の視察、そして石川県の輪島市と珠洲市の市役所を訪問し、職員から当時の災害対応などを聞いた。

6 社会福祉活動

(1) 在宅ひとり暮らし高齢者への訪問活動

地域奉仕団が中心となり、活動を行う地域に居住する在宅ひとり暮らし高齢者宅を訪問している。この活動は、昭和52年から富山県の赤十字奉仕団が独自で行う社会福祉活動として48年間継続して実施している。



なお、平成28年度からは、春のみ年1回の実施とした。

在宅ひとり暮らし高齢者訪問活動実績

年度	対象人数[春] (人)	対象人数[冬] (人)	経費[春・冬合算] (円)	持参品 [春]	持参品 [冬]	対象となるひとり暮らし高齢者
S 52	600～700		不明	花鉢		全員
S 53	(詳細不明)		不明	花鉢	足袋カバー	70歳以上
)						
H 4	4,260	4,365	4,790,320	花鉢	靴下	71歳以上
H 5	4,172	4,279	4,498,483	〃	〃	72歳以上
H 6	4,262	4,300	4,742,426	〃	〃	73歳以上
H 7	4,215	4,261	5,989,451	〃	〃	74歳以上
H 8	4,225	4,335	4,395,852	〃	〃	75歳以上
)						
H 26	9,898	9,971	6,922,494	ティッシュ 5 箱	靴下	75歳以上
H 27	7,640	7,148	5,071,555	〃	〃	80歳以上
)						
R 3	7,740		2,110,694	ティッシュ 5 箱		80歳以上
R 4	7,937		2,136,991	〃		〃
R 5	6,926		2,035,283	〃		〃
R 6	7,611		2,327,734	〃		〃
R 7	8,020		2,410,313	〃		〃

(2) 身体障害者への援護

身体障害者を激励し、自立の意欲を高めるため、富山県点字競技大会に助成を行った。

7 救護看護師の養成

(1) 日本赤十字豊田看護大学

平成16年愛知県豊田市に開学した日本赤十字豊田看護大学への支部長推薦入学等による本県からの在学者2名に奨学金の助成を行った。

8 国際活動

世界各地で、洪水・地震など大きな災害の発生や紛争・内乱などによる被災者・難民が、また発展途上国の多くの国々では貧困・疾患などで苦しんでいる人々が援助を求めている。赤十字は191の国に広がる世界的ネットワークを生かし、様々な支援活動を行っている。

富山県支部では昭和62年のネパール給水施設整備に始まり、その後の国際支援活動に第3ブロックの各県支部と共同で拠出金を支出している。第3ブロックの送金総額1,500万円のうち、富山県支部は100万円を支出した。また、富山県支部単独にて、ルワンダ青少年赤十字海外支援事業として、30万円の支出を行った。

令和7年度 富山県支部参加国際活動事業一覧

事業名	事業内容	事業期間	日赤第三ブロックの 支出総額	富山県支部の 支出総額
レバノン プライマリー ヘルス・スケ ールアップ事 業及び医療技 術支援事業	平成23年にシリアで発生した国内紛争が拡大し、隣国レバノンへ流出した難民は劣悪な環境で避難生活を続けている。水・衛生分野、保健医療の支援を実施してきたが、令和4年度からは主にプライマリーヘルス・センターの設備改修等の支援を実施。令和6年度からは医療技術支援事業も行っている。	単年度支援 (平成28年度か らの事業)	6,000,000円 (令和7年度)	400,000円 (令和7年度)
アジア・大洋 州 給水・衛 生災害対応キ ット整備事業	洪水やサイクロンが多発している地域に、災害時迅速に給水・衛生活動が展開できるように「給水・衛生キット」を備蓄する。また、現地赤十字社のスタッフやボランティアを対象として機材のフォローアップ及び研修を継続的に支援している。	単年度支援 (平成22年度か らの事業)	4,500,000円 (令和7年度)	300,000円 (令和7年度)

事業名	事業内容	事業期間	日赤第三ブロックの 支出総額	富山県支部の 支出総額
南部アフリカ 地域 感染症 対策事業	エイズ孤児や貧困世帯への経済的、心理的支援をとおして、HIVの感染予防・対策に取り組む。社会的に最も脆弱な孤児や貧困世帯が取り残されることなく、保健、水と衛生、栄養、生計支援、教育など包括的な支援を提供している。	単年度支援 (令和6年度からの事業)	4,500,000円 (令和7年度)	300,000円 (令和7年度)
ルワンダ 青少年赤十字 海外支援事業	子どもたちの栄養不良などの健康や衛生面の課題を抱えている地域において、衛生・栄養改善・救急法に関する啓発と、給食・衛生設備の整備に取り組んでいる。	単年度支援 (令和7年3月1日からの事業)		300,000円 (令和7年度)

○ NHK海外たすけあい救援金募集

アジア、アフリカ等の開発途上国での保健衛生の向上、災害対策及び災害発生予防対策、災害被災者及び難民を救援するため、12月1日から25日まで“あなたのやさしさを”をスローガンに、日本赤十字社、日本放送協会、NHK厚生文化事業団の共催で実施され、期間中全国の受付窓口にあたたかい寄付金が寄せられた。富山県支部では、赤十字奉仕団員や青少年赤十字メンバーが、ショッピングセンター等で積極的に募金呼びかけを行った。

○ 全 国（本社へ直接送金された救援金も含む）

81,828件 872,323,696円

○ 富山県 810件 11,430,304円

9 医 療 事 業

富山赤十字病院は、地域における公的医療機関として地域医療の充実と医療水準の向上に努めるとともに、災害時には、赤十字本来の業務として医師、看護師等からなる救護班を災害現場へ派遣し被災者の救護にあたる重要な任務を担っている。

このため、常に医療技術の向上と、施設・設備の充実を図るとともに、救護看護師の養成および救護訓練を実施するなど、赤十字病院としての特色を発揮しながら次の基本理念をもって、医療機関としての使命遂行に努めている。



理 念

人道・博愛の赤十字精神にもとづく良質で安全な医療の提供

基 本 方 針	患者さんの権利	患者さんの責務
1 患者さん中心の医療を提供します 2 より安全で高度な医療の実践を目指します 3 地域医療に貢献する病院を目指します 4 災害救護ならびに医療社会奉仕に努めます 5 次代を担う医療従事者を育成します 6 働きがいのある病院運営に努めます 7 健全経営の維持に努めます	病院の「理念」・「基本方針」にもとづき患者さんが安心して医療を受けることができるよう、以下の権利を大切にします。 1 個人の尊厳が守られる権利 2 プライバシーが保障される権利 3 適切な情報と説明を受ける権利 4 自ら医療行為を選択する権利 5 適切で最善の医療を受ける権利 6 子どもたちが分かりやすく心のこもった医療を受ける権利	医療は患者と医療者との協同作業です。より適正な医療提供のため、以下の責務について十分ご理解をいただき、ご協力をお願いします。 1 ご自身の健康状態に関する正確な情報をお伝えください 2 医療者と力を合わせて診療に参加し、最大限の治療効果を発揮できるようにご協力ください。 3 病院のルールに従い、院内での迷惑行為は慎んでください 4 受けた医療に対し、診療費をお支払いください。

(1) 富山赤十字病院

概要

- 第二次救急指定病院 ■人間ドック・健診施設機能評価認定施設
- WHO・ユニセフ認定「赤ちゃんにやさしい病院（BFH）」
- 厚生労働省臨床研修指定病院 ■富山県がん診療地域連携拠点病院
- 日本医療機能評価機構認定病院 ■地域医療支援病院
- 災害拠点病院（地域災害医療センター） ■救急告示病院

ア 開 設 明治40年 5 月 1 日

イ 建物延面積 35,681.94㎡

ウ 診療科目27科

総合内科、腎臓・リウマチ・感染症内科、糖尿病・内分泌・栄養内科、血液内科、神経内科、肝臓内科、呼吸器・アレルギー内科、消化器内科、循環器内科、高令心療科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、脳血管内治療科、呼

吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、眼科、泌尿器科、産婦人科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、麻酔科、放射線科、歯科口腔外科、病理診断科

エ 病 床 数 401床

オ 外来患者数 206,513人（1日平均857人）

カ 入院患者数 111,506人（1日平均 305人）

キ 健 診 活 動 (ア) 検診者数 9,074人

(イ) 人間ドック（1泊2日）587人

ク 医療社会事業活動 (ア) 健康教室 84回、404人（糖尿病、安産、禁煙）

(イ) 医療相談等 4,615件

(ウ) ボランティア活動 2,722時間

ケ 臨時救護活動

11月2日 富山マラソン（高岡市役所前～富岩運河環水公園）5名

(2) 富山赤十字訪問看護ステーション

地域医療・福祉の向上に努めるため、在宅療養される方へ24時間体制で日常生活の看護及び家族介護の支援を行っている。

従事者（看護師・作業療法士） 9名

利用者数 199名

訪問延べ回数 6,998回

(3) 愛宕・安野屋地域包括支援センター

愛宕、安野屋地域を対象とし、介護予防の推進や総合相談業務、地域ケア体制の推進などの業務に取組み、高齢者の方々がいつまでも住み慣れた地域で安心して生活していけるよう支援している。

相談実件数 3,090件

(4) 富山赤十字ケアプラン事業所

介護サービスを受けるために必要な要介護申請代行や居宅サービス計画（ケアプラン）の作成を行っている。

相談実件数 1,155件

(5) 患者支援センター

外来通院中から入院準備、入院治療、退院準備、退院後の外来通院という一連の流れを医師・看護師・社会福祉士・薬剤師・栄養士等他職種が連携しサポートしている。

従来地域医療連携室を深化させ、今後より地域のかかりつけ医や行政、介護サービスとの連携を密にし、病院の理念である「人道博愛の赤十字精神に基づく良質で安全な医療の提供」を実践できるよう努めている。

10 血 液 事 業

富山県赤十字血液センターは、昭和40年1月に開設以来、輸血用血液製剤を必要としている方のため、多くの献血者から善意の血液を受け入れ、安全性確認の検査を経て製造された輸血用血液製剤を毎日県内の医療機関に届けている。

広域事業運営体制（東海北陸ブロック血液センター）により、輸血用血液製剤の安全性の向上と安定供給の確保に努めている。

また、新型コロナウイルス感染症の流行を教訓として今後も新興感染症の拡大に備えた安心安全な献血会場の運営に努めるとともに、密集や密接を避けるため事前予約の推進を図り、各種団体、行政機関との連携強化や報道機関への協力要請するなど、献血者の確保に取り組むこととしている。

Basic Principle



基 本 理 念

血液製剤を必要としている方の尊い生命を救うため
需要に応じた献血血液を安定的に確保し
安全性・品質向上に取り組み
献血者の皆様の想いを届けます

(1) 令和7年度実績の概要

ア. 献血実績

(単位：人)

	200mL 献血	400mL 献血	血漿成分献血	血小板成分献血
移動献血	574	20,084		
献血ルーム	774	6,255	6,298	4,971
合 計	1,348	26,339	6,298	4,971

イ. 供給実績

(単位：200mL 献血を1本として換算)

	200mL 献血	400mL 献血	血漿成分献血	血小板成分献血
全血製剤				
赤血球製剤	1,280	46,206		
血漿製剤	17	8,662	1,988	
血小板製剤				62,415
合 計	1,297	54,868	1,988	62,415

(2) 献血手帳、献血カードのアプリへの移行

献血手帳や献血カードについては、献血者の皆様の献血記録等を記す役割として、長く利用されてきた。その一方で、デジタル化社会の実現に向けて進展している社会情勢を鑑み、日本赤十字社の血液事業では、令和4年9月に「ラブラッドアプリ」を導入。献血手帳や献血カードの機能を集約することにより、デジタルを活用したサービスの提供を実現した。

献血者の皆様に利便性の高いサービスが提供できるように、「ラブラッドアプリ」の利用をさらに促進することとし、献血手帳や献血カードの新規発行及び更新については、令和8年1月4日（日）をもって終了することとした。

今後も、献血者の皆様にご満足いただけるようなサービスの提供に努めていく。

献血カードから、アプリへ。





献血WEB会員サービス
ラブラッド



ラブラッド画面の
バーコードを
提示するだけで
受付できます！

**献血予約**
Webサイト・アプリから献血予約が可能！希望受付時間の3時間前まで予約もできるので、お近くの献血会場を選択して、手軽に献血できます。
※献血会場によっては当日予約できない場合があります。

**事前問診回答**
これまで献血会場ではできなかった問診回答がWebサイト・アプリからできます。
※問診への事前回答は献血当日の受付30分前までお願いいたします。
※最終的な献血の可否は当日の問診結果の判断になります。

**血液検査の確認**
血液検査結果が献血後2～5日程度でラブラッドの画面から確認できるようになります。ご自身の献血記録をいつでも確認することができます。
※直近3回分の血液検査の記録をグラフで確認することもできます。

**会員特典**
ご協力いただいた献血種類に応じて、ポイントがたまります。また、献血予約でも予約ポイントが付与されます。たまったポイントはオリジナル記念品と交換が可能です。
※賞品は記念品の一割です。賞品により交換できる記念品は異なります。

その他、イベントやキャンペーン情報のご案内や、便利な機能を多数備えています。

ラブラッドアプリは、
こちらからダウンロードください。





※App StoreはApple Inc.の登録商標です。Apple Inc.の所有です。© Apple Inc. 2023. All rights reserved.
※Google PlayはGoogle LLCの登録商標です。Google LLCの所有です。

 **日本赤十字社** 富山県赤十字血液センター
Japanese Red Cross Society

人間を救うのは、人間だ。Together for humanity

11 社会福祉事業

(1) 児童福祉施設

富山県立乳児院は、昭和27年から、社会的養護が必要な0歳からおおむね3歳までの乳幼児を預かり、24時間365日通して養育する富山県内では唯一の施設である。

養育目標を「安全で安心できる環境の中で養育者と愛着関係を築き、のびのびと過ごし心身ともに健やかに成長する」と掲げ、四季折々の行事など日常的な家庭環境を提供し、子どもの健やかな成長を支援している。

令和7年度入所児童等状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
措置入所初日在籍人数	12	13	12	13	13	15	15	13	13	14	14	17	164
措置入所在籍延人数	344	374	351	403	394	407	455	390	409	434	394	523	4878
一時保護委託受入人数	1	0	2	3	2	3	3	5	4	2	2	2	29
一時保護委託延人数	11	0	78	65	39	21	51	69	65	77	86	62	624
ショートステイ受入人数	2	0	1	1	0	0	3	2	0	0	0	0	9
ショートステイ延人数	6	0	5	8	0	0	16	4	0	0	0	0	39
病児・病後児保育児童数	11	11	13	9	9	12	14	11	17	0	4	18	129



12 会員の増強と社資の確保

日本赤十字社の活動資金は、会員から納入していただく「会費」と広く個人や法人あるいは団体から寄せられる「寄付金」から成り立っている。この「会費」と「寄付金」を合わせて「社資」と呼んでいる。

日本赤十字社富山県支部では、毎年5月を赤十字運動月間として、広く県民の皆様方に赤十字事業推進のため、会員加入を促進し、社資の増収に努めた。

(1) 赤十字運動月間を中心としての赤十字思想の普及

ア 支部広報紙「赤十字富山」447,000部を地区分区を通じ県下全世帯に配布した。

また、活動実績を中心とした「赤十字とやま」を年2回、市町村及び関係者に配付し、赤十字思想の普及と会員加入を呼びかけた（21地区分区中16地区分区で、自治会等の回覧に協力していただいている。）。

イ 本社からのポスター、リーフレット等を地区分区等関係機関に提供し、運動月間における会員の増強について協力を依頼した。

ウ マスコミを通じての普及を図るため、テレビ局・ケーブルテレビ局及びラジオ局に本社より配布のCMテープ、ブルーレイ等を配布し、県民への周知方協力を依頼した。

エ 5月8日の世界赤十字デーを中心に、「レッドライトアッププロジェクト」を実施した。

県内での取り組み

○株式会社インテック（タワー111）

5月1日(木)～8日(木) 日没後～22：00まで 赤色照明

○富山県美術館

5月1日(木)～8日(木) 日没後～22：00まで 赤色照明

○NHK 富山放送局

5月8日(木) 日没後～24：00まで 赤色照明

(2) 会員の増強

ア 赤十字会員には、県民の皆さんがその趣旨に賛同され、会員に加入し、その能力に応じて会費を拠出していただく会員制度本来の姿が望ましく、この趣旨により、特別社員以上の会員の増強に努めた。

イ 個人篤志者等に支部広報紙「赤十字富山」を同封し、ダイレクトメールによって会費への協力を依頼した。

ウ 法人会員の増強については、新規法人の開拓を進めるとともに、災害救護事業等指定事業への協力をダイレクトメールにより依頼した。

エ 会員とのコミュニケーションを図り、感謝の気持ちを表すとともに引き続きの支援をお願いすることを目的として、寄付者に対し、お礼の電話をおかけした。

オ 会員に日本赤十字社会員誌「Cross com-BOOK」を送付し、会費の使途や活動報告を行った。

(3) 地区分区との協力体制の強化

会員の増強・社資の確保により、支部事業を推進するため、地区分区とのより緊密な協力体制の強化に努めた。

ア 地区分区委嘱職員研修会

令和8年2月18日に開催。日本赤十字社富山県支部において、地区分区委嘱職員に、令和8年度の支部事業、社資依頼額及び予算その他赤十字業務全般についての研修を行った。

(4) 企業とのパートナーシップ

赤十字の活動に継続的にご協力いただく企業・団体の皆様とパートナーシップを結び、共に社会に貢献する活動を行いながら、相互に発展できる関係の構築を推進している。

赤十字支援マークの使用

企業の広告媒体や商品等に赤十字支援マークを使用することによる赤十字活動への資金協力や赤十字寄付付き自動販売機の設置等、企業のCSR活動を推進した。

内 容	協力企業数
寄付機能付き自動販売機	5 社
ポイントによる寄付	2 社
売り上げの一部を寄付	1 社

(5) 遺贈寄付に関する協定締結

令和3年10月8日に株式会社北陸銀行と日本赤十字社富山県支部の間で、遺言を活用した遺贈寄付に関して連携する協定を締結した。

(6) 社資功労感謝状伝達式

社資募集に貢献された個人・法人のうち金色有功章以上の表彰となる方々を対象に、県庁特別室において、社資功労感謝状伝達式を開催し、日本赤十字社富山県支部有賀副支部長（富山県厚生部長）から感謝状が伝達された。

令和7年11月5日

厚生労働大臣感謝状 個人 1名

社長感謝状 法人 4社

金色有功章 個人 2名

〃 法人 2社

令和8年3月30日

厚生労働大臣感謝状 個人 1名

社長感謝状 個人 1名

金色有功章 個人 2名

(7) 富山県赤十字有功会総会

7月8日富山電気ビルにおいて、有賀副支部長をはじめ多数の来賓をお迎えし、会員53名が参加した。

令和6年度事業報告、決算報告、令和7年度事業計画、予算案等について審議し承認された。

講演会では、竹村博文氏（富山赤十字病院院長）の「心臓外科の過去・現在・未来」と題する講演を聴き、懇親パーティで交流を深めた。

(8) 全国赤十字大会

全国赤十字大会が5月13日に、名誉総裁皇后陛下を始め各名誉副総裁（秋篠宮皇嗣妃殿下、常陸宮妃殿下、寛仁親王妃信子殿下、高円宮妃殿下）ご臨席の下、明治神宮会館（東京都）で開かれた。全国から会員ボランティア等関係者約1,600名が出席し、本県からも27名が参加した。式典では有功章の授与が行われ、本県の延野源正様（高岡市）が、金色有功章代表として受章された。

(9) 日本赤十字社創立150周年プロジェクト

令和9年に創立150周年の節目を迎えることから、「創立150周年プロジェクト」を立ち上げ、様々な取り組みを進めている。

その一つのワークショップには、全国の赤十字職員や赤十字運動の推進者が参加し、赤十字の将来像や役割についての思いや考えを議論した。

令和7年12月に日赤本社で実施した赤十字運動推進者対象ワークショップには、富山県から2名が参加した。

浦上真由美（高岡向陵高等学校養護教諭）、滝口美枝子（ともしび赤十字奉仕団委員長）



(10) 日赤紺綬・有功会会長協議会の総会

全国47都道府県の紺綬有功会、有功会会長をもって組織されている「日赤紺綬・有功会会長協議会」の総会が、全国から112名の参加のもと、10月3日～4日佐賀県において開催された。日赤本社から清家日赤社長、本県から梅田会長と布野事務局長が出席し、赤十字の社業振興等について協議した。

総会終了後、山口祥義氏（佐賀県知事）が「さが新時代への挑戦」と題する講演を行った。

(11) 社資の募集実績

ア 社資募集実績額

（単位：円）

区 分			目 標 額	実 績 額	達成率(%)
社資総額			184,000,000	204,601,599	111.2
内 訳	一般社資	会 費	155,000,000	165,672,732	106.9
		寄 付 金	10,000,000	9,128,783	91.3
		指定事業	1,000,000	1,557,000	155.7
		合 計	166,000,000	176,358,515	106.2
	法人社資	指定事業	7,070,000	7,070,000	100.0
		そ の 他	10,930,000	21,173,084	193.7
		合 計	18,000,000	28,243,084	156.9

※上記の中には次の寄付金が含まれている。

1. 病院指定 7,437,500円（個人 6,237,500円 法人 1,200,000円）
2. 乳児院指定 790,000円（個人 340,000円 法人 450,000円）

イ 社資功労受章者

○厚生労働大臣感謝状（個人）

島田 勝由（南砺市） 飛驒 文衛（南砺市） 渡辺 啓史（南砺市）

○日本赤十字社社長感謝状（個人）

小西 広一（富山市） 樋口ちづ子（富山市） 宅美 公雄（高岡市）
山下 和夫（高岡市）

○日本赤十字社社長感謝状（法人）

株式会社ありがとうホーム富山（富山市） 株式会社大阪屋ショップ（富山市）
太平ビルサービス株式会社富山支店（富山市） 津根精機株式会社（富山市）
ヒラオ製本株式会社（富山市） 株式会社ミヅホ建設（富山市）
モトタニ鐵工建設株式会社（富山市） 株式会社富山銀行（高岡市）

○金色有功章（個人）

金島 信夫（富山市） 水橋 章（富山市） 吉村 健治（富山市）
米澤 孝之（富山市） 斉藤 大直（高岡市） 濱谷海輝夫（高岡市）
山下 博司（高岡市） 武田 茂憲（滑川市） 中川 一夫（射水市）
横嶋 信昭（立山町）

○金色有功章（法人）

株式会社日産サティオ富山（富山市） 有限会社婦中衛生（富山市）
いなほ化工株式会社（高岡市） 株式会社高岡ケージ工業（高岡市）
YKK AP 株式会社（黒部市） 新高清掃株式会社（射水市）
日本海味噌醤油株式会社（上市町）

※ ご意向を確認できた方のみ掲載しております。

13 赤十字思想の普及

支部では、各種の広報資料を活用し、赤十字に対する理解と協力を求めている。

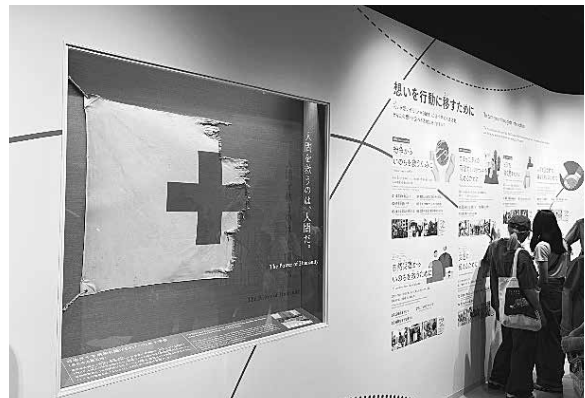
(1) 事業を通じての広報

赤十字奉仕団および青少年赤十字による奉仕活動の推進を通しての広報のほか、地域・職場における献血や救急法等赤十字講習など実施の場合にも、チラシの配布、国際救援や赤十字活動を紹介するDVDの上映など、できる限りわかり易い方法で赤十字全般にわたる広報に努めた。

(2) 大阪・関西万博 国際赤十字・赤新月運動館

令和7年4月13日～10月13日までの184日間に及ぶ大阪・関西万博に、赤十字パビリオン（正式名称「国際赤十字・赤新月運動館」）を出展した。赤十字運動への理解・共感と、パビリオンコンセプトの「私の“できる”は、誰かのためになる」は、その一歩を踏み出すきっかけを多くの人に提供することとなった。総来館者数は31万人を超え、特設WEBサイト訪問者も150万人に上り、さらにはSNS上でも多くの人に称賛、拡散され、この万博を通じて人道の輪が広まった。

また、この万博には全国から1,200人以上の職員・ボランティアがスタッフとして協力しており、富山県支部・富山赤十字病院から3名が参加した。



(3) 「全国ご当地ハートラちゃん」の制作

「ハートラちゃん」は、日赤全体の体系的な事業広報を展開する一助とするため、平成26年に全職員の総選挙で選ばれた公式キャラクター。

日赤は、令和9年に創立150周年を迎えることから、47都道府県の地域ごとの特色や魅力を取り入れ、各地域の文化や名産、風土などをモチーフにデザインされた

「全国ご当地ハートラちゃん」を制作した。

各地域で働く職員の発案をもとにデザインされたキャラクターを展開することにより、地元の方々に日赤をより身近に感じ、親しみや愛着を持っていただきたいと誕生したもので、「富山県のハートラちゃん」は、特産のます寿司と寒ブリをモチーフに、豊かな食文化と地域の活気を表現しており、支部・施設での活用を通じて、地域に根ざした日赤の取組みへの理解促進を図ることとしている。



※「ハートラちゃん」

苦しんでいる人を救う赤十字ボランティアの姿に感動し、さらにおでこの赤い十字に運命を感じて、自分もひとりでも多くの「苦しんでいる人」を救いたいと、日本赤十字社のボランティアになって一生懸命に活動しているハートランドの「森の精」。世界赤十字デーの5月8日が誕生日。

(4) マスコミを通じての広報

赤十字運動月間のCMを県内テレビ局、ラジオ局、ケーブルテレビ局に持参し、社業の浸透を図った。

(5) 刊行物等による広報

赤十字のPR用として配付活用した資料は、次のとおりである。

(刊行物)

- 日本赤十字社会員誌「Cross com-BOOK」
- 赤十字運動月間ポスター
- 赤十字運動月間パンフレット
- 赤十字NEWS（月1回発行）
- ACTION！防災・減災ポスター
- 広報紙「赤十字富山」（年1回発行 県内全世帯配布）
- 広報紙「赤十字とやま」（年2回発行）
- 令和6年度事業報告、令和7年度事業計画
- 救急法の基礎知識～備えあれば安心～
- 知っていれば安心です～心肺蘇生とAED～

- 手ではなそう
- 赤十字ボランティア活動ブックレット
- 赤十字ボランティア情報誌「RCV」（年２回発行）
- 機関紙「奉仕団とやま」（年１回発行）
- 青少年赤十字機関紙（小・中・高用）
- 青少年赤十字指導者手引
- 青少年赤十字指導情報
- 青少年赤十字ハンドブック
- 青少年赤十字リーダーシップ・トレーニングセンター・ガイドブック
- 赤十字の父アンリー・デュナン
- ソルフェリーノの思い出
- 機関紙「JRC とやま」（年１回発行）
- 富山県青少年赤十字活動推進校研究報告書（年１回発行）

(6) 広報視聴覚資料一覧

題 名	内 容	時 間	制作年
赤十字この一年	赤十字の活動を網羅的に紹介	15分	毎年
赤十字の基本原則	赤十字基本原則をアニメーションで紹介	3分	平成29年
赤十字の成り立ちと活動	赤十字の成り立ち、日本赤十字社の成り立ち、日本赤十字社事業を紹介	6分	平成25年
「新型コロナウイルス感染症」まん延下での災害救護活動～貴島明日香の日本赤十字社リポート～	2020年1月から続く日赤の新型コロナウイルス感染症に関する知られざる対応と令和2年7月豪雨災害での活動を、インタビューを交えながら収録	27分	令和2年
バングラデシュ避難民に寄り添って～海外救援看護師のルポルタージュ～	2017年8月、ミャンマーで発生した大規模な暴力から逃れ、隣国バングラデシュに避難した70万もの避難民。その避難民が「ジャパニッククリニック」と呼ぶ日本赤十字社の診療所で奮闘する海外救援看護師のルポルタージュ。	29分	令和3年

14 支部・施設間の連絡調整

支部・施設（病院、血液センター等）間の連絡調整を行い、赤十字事業推進の一体化と円滑なる運営を図るため、支部・施設業務連絡会議等を開催した。

○支部施設業務連絡会議（年１回）

- ・事業計画の推進 ・職員の人材育成、研修計画 ・職員合同採用
- ・災害救護訓練 ・各施設の諸問題他

(ア) 広報担当者部会（年３回）

(イ) 研修担当者部会（年１回）

(ウ) 災害救護等担当者部会（年１回）

15 日本赤十字社富山県支部役員名簿

令和８年４月１日現在

支 部 長	新 田 八 朗	富山県知事
副 支 部 長	滑 川 哲 宏	富山県厚生部長
〃	藤 井 裕 久	富山県市長会長（富山市長）
〃	舟 橋 貴 之	富山県町村会長（立山町長）
監 査 委 員	笹 原 靖 直	富山県町村会副会長（朝日町長）
〃	三 條 孝 順	社会福祉法人陽光福社会理事長
本社代議員（理 事）	朝 日 重 剛	朝日印刷(株)会長
本社代議員	金 井 豊	北陸電力(株)代表取締役会長
〃	村 上 美也子	富山県医師会長
評 議 員（富山市地区）	西 田 政 司	富山市副市長
〃（ 〃 ）	高 城 繁	富山市社会福祉協議会長
〃（ 〃 ）	中 川 伸 一	富山市民生委員・児童委員協議会長
〃（ 〃 ）	北 岡 勝	富山市自治振興連絡協議会長
〃（ 〃 ）	廣 田 憲 彦	富山市共同募金委員会会長
〃（ 〃 ）	任 海 哲 朗	富山市赤十字奉仕団代表
〃（ 〃 ）	有 澤 守	富山市老人クラブ連合会長
〃（ 〃 ）	和 田 麗 子	富山市母親クラブ連絡協議会長
〃（ 〃 ）	中 村 ひとみ	富山市赤十字奉仕団代表

評 議 員（高岡市地区）	竹 内 延 和	高岡市副市長
〃 （ 〃 ）	角 玄 富 雄	高岡市連合自治会長
〃 （ 〃 ）	炭 谷 靖 子	高岡市社会福祉協議会長
〃 （ 〃 ）	金 田 桜 子	高岡市地区赤十字奉仕団代表
〃 （射水市地区）	夏 野 元 志	射水市長
〃 （ 〃 ）	竹 苗 典 子	射水市地区赤十字奉仕団代表
〃 （魚津市地区）	村 椿 晃	魚津市長
〃 （氷見市地区）	菊 地 正 寛	氷見市長
〃 （滑川市地区）	水 野 達 夫	滑川市長
〃 （黒部市地区）	武 隈 義 一	黒部市長
〃 （砺波市地区）	夏 野 修	砺波市市長
〃 （南砺市地区）	田 中 幹 夫	南砺市長
〃 （小矢部市地区）	桜 井 森 夫	小矢部市長
〃 （新川厚生センター）	笹 原 春 人	入善町長
〃 （中部厚生センター）	中 川 行 孝	上市町長
〃 （支部長選出）	品 川 祐一郎	富山商工会議所副会頭
〃 （ 〃 ）	岩 田 繁 子	富山県婦人会長
〃 （ 〃 ）	中 西 順 子	赤十字奉仕団富山県支部委員会委員長
〃 （ 〃 ）	梅 田 ひろ美	富山県赤十字有功会長
〃 （ 〃 ）	高 信 智加子	富山県青少年赤十字指導者協議会長

16 日本赤十字社富山県支部・施設一覧

令和8年4月1日現在

	施 設 名	代 表 者 等	職員数
支 部	日本赤十字社富山県支部	事務局長 布野 浩久	11
施 設	富 山 赤 十 字 病 院	病院長 竹村 博文	817
	（受託）富山県立乳児院	院 長 津幡 眞一	28
	富山県赤十字血液センター	所 長 横川 博	42

資 料 I

地区分區別 活動狀況

17 救護装備品配備状況

地区区分	災害 救援車 (台)	R 7 年度	R 6 年度	R 5 年度	R 4 年度	R 3 年度	R 2 年度	H28～R元年度	H27年度	H24～25年度	H20～26年度	H18～19年度
		救護所用 テント (車両更新)	大型サーキュ レーター (車両更新)	大型サーキュ レーター (車両更新)	大型サーキュ レーター	大型サーキュ レーター (車両更新)	大型サーキュ レーター (車両更新)	(車両更新)	救護所用 テント (車両更新)	発電機・AED・救護所 用テント・救急セット (車両更新)	炊き出し用 炊飯器 (車両更新)	救護所用 テント (車両更新)
富山市	1	10		3	17	18	5		2	AED (1)	9	49
富山市大沢野	※1			3						発電機	1	5
富山市大山	1			4						発電機	1	(4)
富山市八尾	1		3	3						救護所用テント	1	10
富山市婦中	※1		2	5	1				1	救護所用テント	1	9
富山市山田	※								(1)	救急セット	1	2
富山市細入	※		1							発電機 (1)		2
高岡市	1	4	2	5	7	7	3	(1)		発電機	6	26
高岡市福岡	1		1							発電機	1	1
魚津市	1	1	1	1	2	(1)	1			AED	1	16
氷見市	1	2	1	2	3	3	1	(1)	8	AED	4	20
滑川市	1	2	1	1	2	2	1	(1)	4	AED	1	5
黒部市	1	2	1	2	2	(2)	1		5	発電機	(1)	10
黒部市宇奈月	1				1					発電機 (1)	1	1
砺波市	1	2		(2)	2	2	1			発電機	1	(19)
砺波市庄川			1							AED	1	4
小矢部市	1	1		1	2	1	1	(1)		発電機	1	20
南砺市	1	(1)										
南砺市城端	1					(1)			1	発電機	1	1
南砺市平									1	AED	(1)	1
南砺市上平	1			1					1	AED	1	1
南砺市利賀	1		1							AED (1)	1	1
南砺市井波	1				1				2	救護所用テント (1)	1	1
南砺市井口				1						発電機	(1)	1
南砺市福野	1						1	(1)	2	発電機	1	(1)
南砺市福光	1	2			2	1		(1)	1	AED	1	2
射水市	1		(1)									
射水市新湊				3	3	1				AED	(1)	2
射水市大島	1	1					(1)			発電機	1	1
射水市小杉		1	1		1	3				発電機	2	(1)
射水市大門	1	1					(1)			発電機	1	1
射水市下			1							発電機	1	(1)
入善町	1	2	1	1	1	2	1	(1)		救護所用テント	1	12
朝日町	1	1			1	1		(1)		AED	1	10
舟橋村	1	1	(1)			1				発電機	(1)	1
上市町	1	2	1	1	1	2	1			発電機	1	16
立山町	0	2	1	1	1	2	1			救護所用テント	1	11
合 計	28	(37)	(20)	(40)	50	(50)	(20)	(8)	(28)	(35)	(50)	(268)

※富山市大沢野と細入、婦中と山田が車両を共同利用

18 令和7年度 地区・分区 救援物資分置状況

地区分区	年度中交付数	毛布	綿毛布	緊 急 セット	タオル	鍋セット	カセット コンロ	安 眠 セット	石鹸
	年度末分置数								
富 山 市	交付数	12	2	3	70	2	3	0	0
	分置数	12	12	3	120	3	3	0	0
富山市大沢野	交付数	6	7	3	110	1	1	0	0
	分置数	20	10	4	100	2	2	0	1
富山市大山	交付数	0	0	0	0	0	0	0	0
	分置数	6	6	2	60	1	1	0	2
富山市八尾	交付数	0	0	0	0	0	0	0	0
	分置数	20	10	4	100	2	2	0	2
富山市婦中	交付数	0	0	0	0	0	0	0	0
	分置数	10	8	4	190	2	2	0	1
高 岡 市	交付数	20	3	22	620	4	4	0	17
	分置数	20	10	10	240	6	6	0	10
魚 津 市	交付数	0	0	0	0	0	0	0	0
	分置数	24	24	9	240	6	6	0	20
氷 見 市	交付数	6	8	7	140	5	5	0	1
	分置数	16	6	7	120	6	6	0	7
滑 川 市	交付数	7	0	0	6	0	0	0	0
	分置数	12	6	2	60	2	2	0	2
黒 部 市	交付数	0	0	0	0	0	0	0	0
	分置数	24	24	9	240	6	6	0	6
砺 波 市	交付数	0	0	0	0	0	0	0	0
	分置数	28	21	7	290	5	5	0	0
小 矢 部 市	交付数	0	0	0	0	0	0	0	0
	分置数	12	0	3	60	1	1	0	0
南砺市(福祉課)	交付数	0	0	0	0	0	0	0	0
	分置数	20	18	10	200	5	5	0	5
南 砺 市 (平)	交付数	0	0	0	0	0	0	0	0
	分置数	10	4	5	100	1	1	0	5
南砺市(上平)	交付数	0	0	0	0	0	0	0	0
	分置数	10	4	5	100	1	1	0	5
南砺市(利賀)	交付数	0	0	0	0	0	0	0	0
	分置数	10	4	5	100	1	1	0	5
射 水 市	交付数	0	1	1	10	1	1	0	1
	分置数	20	20	4	200	4	4	0	20
新川厚生センター	交付数	0	0	0	0	0	0	0	0
	分置数	8	8	3	140	2	2	0	18
入 善 町	交付数	0	0	0	0	0	0	0	0
	分置数	16	13	6	160	4	4	0	2
朝 日 町	交付数	0	0	0	0	0	0	0	0
	分置数	15	10	5	80	2	2	0	2
上 市 町	交付数	4	0	1	20	1	1	0	0
	分置数	12	5	3	60	2	1	0	0
立 山 町	交付数	0	0	0	0	0	0	0	0
	分置数	30	6	4	160	3	3	0	0
令 和 7 年 度 合 計	年度中交付数	55	21	37	976	14	15	0	19
	年度末分置数	353	229	111	3,110	66	66	0	113

※令和7年度末に救援物資を分置している地区・分区のみ記載

19 救援物資交付状況

近年の県内大規模災害に対する救援物資交付状況

災 害 名	世帯数	人員	毛布	綿毛布	緊急セット	タオル	安眠セット	石鹸
入善高波災害（H20. 2）	26	53	62		65	900	40	76
南砺豪雨災害（H20. 7）	59	160	81	13	74	2,170		69
高岡市水害（H24. 7）	102	258	20	10	100	2,580		108
魚津大規模火災（H25.11）	9	22	37		8	150		
南砺市地滑り災害（H29. 1）	4	6	4	2	4	40		
小矢部市強風火災（R4. 3）	4	15	42		9	200		
高岡市大雨水害（R5. 7）	23	71			50	1,500		50
富山市大雨水害（R5. 7）	6	6			6	130		5
富山市婦中大雨水害（R5. 7）	13	13			13	260		13
氷見市地震災害（R6. 1）	50	134	100		50	500		
高岡市大雨水害（R7. 8）	17	19			17	510		17

その他の災害に対する救援物資交付状況

地区区分	R 7			R 6			R 5			R 4			R 3		
	世帯数	人 員	弔慰金	世帯数	人 員	弔慰金	世帯数	人 員	弔慰金	世帯数	人 員	弔慰金	世帯数	人 員	弔慰金
富 山 市	3	7	1	1	2	3	10	14		11	5	4	4	4	2
富山市大沢野	2	11											1	2	
富山市大山															
富山市八尾			2			3	12	4	1						
富山市婦中							15	23		2	4	2	1	1	1
高 岡 市	4	10	1	5	10	2	31	83	1	22	47		5	13	1
魚 津 市				5	10	1				3	9		2	4	1
氷 見 市	6	13	3	2	5	1	54	143	1						
滑 川 市	6	8													
黒 部 市				4	9	1							1	1	1
砺 波 市							6	11					2	3	
小 矢 部 市													5	22	
南 砺 市				3	8	1	2	5	1	2	6	1	6	24	
射 水 市	1	2					1	6							
入 善 町															
朝 日 町				1	3		3	3							
上 市 町	1	2					2	2	1	2	6	2			
立 山 町						1	3	8					1	2	
合 計	23	53	7	21	47	13	139	302	5	42	77	9	28	76	6

※交付実績のある地区・区分のみ記載

20 令和7年度講習実績一覧表

地区区分名	実施場所	対象	人数	講習名
富山市	富山大学教育学部附属小学校	教職員	41	救急法
	老田小学校	教職員	20	救急法
	呉羽小学校	教職員・保護者	38	救急法
	東部小学校	教職員	24	救急法
	太田小学校	教職員	12	救急法
	柳町小学校	教職員・PTA	18	救急法
	草島小学校	教職員	8	救急法
	中央小学校	教職員	19	救急法
	水橋中部小学校	教職員	13	救急法
	八幡小学校	教職員・保護者	25	救急法
	萩浦小学校	教職員	13	救急法
	古沢小学校	教職員	15	救急法
	//	児童	57	水上安全法
	新庄北小学校	教職員・PTA	26	救急法
	新庄小学校	教職員・PTA	38	救急法
	藤ノ木小学校	教職員	44	救急法
	奥田北小学校	教職員	22	救急法
	豊田小学校	教職員	40	救急法
	浜黒崎小学校	教職員	16	救急法
	広田小学校	教職員	20	救急法
	山室中部小学校	教職員	18	救急法
	蜷川小学校	教職員	40	救急法
	三成小学校	教職員	60	救急法
	光陽小学校	教職員	25	救急法
	針原小学校	教職員	20	救急法
	五福小学校	教職員	19	救急法
	岩瀬小学校	教職員・保護者	13	救急法
	堀川中学校	生徒	121	救急法
	//	生徒	116	救急法
	//	生徒	108	救急法
	//	教職員	38	救急法
	新庄中学校	教職員	35	救急法
	水橋中学校	教職員	13	救急法
	呉羽中学校	教職員	26	救急法
	興南中学校	教職員	18	救急法
	藤ノ木中学校	教職員	18	救急法
	南部中学校	教職員	24	救急法
	北部中学校松風分校	教職員	22	救急法
	岩瀬中学校	教職員	22	救急法
	富山商業高校	生徒・教職員	43	救急法
	富山高校	教職員	18	救急法

地区区分名	実施場所	対象	人数	講習名
富山市	富山高校	生徒	143	救急法
	//	生徒	73	救急法
	龍谷富山高校	生徒	16	健康生活支援講習
	いずみ高校	生徒・教職員	40	健康生活支援講習
	高志支援学校	教職員	24	救急法
	恵光学園	保護者・職員	30	幼児安全法
	藤ノ木こども園	保護者	22	幼児安全法
	ウェスキーラボ富山校	職員	11	幼児安全法
	青い鳥保育園	職員	22	幼児安全法
	桜谷保育園	職員	25	幼児安全法
	新庄北地区センター	PTA	20	救急法
	//	新庄北赤十字奉仕団	26	救急法
	四方公民館	四型赤十字奉仕団・小学生	40	健康生活支援講習
	西田地方公民館	地域住民	25	健康生活支援講習
	星井町公民館	ファミリーサポートセンター会員	5	幼児安全法
	奥田公民館	保育補助員	15	幼児安全法
	五福公民館	ファミリーサポートセンター会員	8	幼児安全法
	//	ファミリーサポートセンター会員	8	幼児安全法
	大広田公民館	ファミリーサポートセンター会員	5	幼児安全法
	山室公民館	山室校下保健推進員会員	20	幼児安全法
	堀川公民館	ファミリーサポートセンター会員	8	幼児安全法
	ドラッグセイムス神通本町店	地域住民	10	健康生活支援講習
	市子育て支援センター	ファミリーサポートセンター会員	20	幼児安全法
	//	乳児院とその保護者	50	幼児安全法
	富山流通会館	職員	22	救急法
	安全衛生教育センター	衛生管理受講者	90	救急法
	//	安全管理講習受講者	20	救急法
	//	安全管理講習受講者	20	救急法
	富山市民球場	自動車教習所指導員	20	救急法
	東富山温水プール	職員	20	水上安全法
	栗島ふれあい会館	組合員	40	健康生活支援講習
	健保組合連合富山会館	会員	57	健康生活支援講習
	県総合教育センター	新規採用養護教諭	7	救急法
	県総合体育センター	バレーボールコーチ	26	救急法
	//	新任教職員	105	水上安全法
	//	教職員他	20	水上安全法
	//	消防学校初任科	40	水上安全法
	//	警察学校初任科	26	水上安全法
	//	警察学校初任科	18	水上安全法
	//	新規採用幼稚園・保育教諭	35	幼児安全法
	とよた学童クラブみどりの家	学童クラブ指導員	16	幼児安全法
	アピアスポーツクラブ	職員	24	救急法

地区区分名	実施場所	対象	人数	講習名
富 山 市	アピアスポーツクラブ	職員	30	救急法
	常願寺ハイツスポーツ公園	職員	17	救急法
	//	職員	11	救急法
	自治労とやま会館	介護職員	2	救急法
	//	介護職員	2	救急法
	//	介護職員	2	救急法
	富山ダイハツ販売 富山店	職員	23	救急法
	ウィンディ	職員	10	救急法
	くれは陽光苑	介護職員	29	救急法
	朝日ケア	介護職員	25	救急法
	血液センター	中学生	4	救急法
	//	職員	16	救急法
	//	職員	7	救急法
	マリエ献血ルーム	職員	7	救急法
	//	職員	6	救急法
	富山赤十字病院	親子・職員	8	幼児安全法
	//	親子	10	幼児安全法
	県立乳児院	職員	24	幼児安全法
	//	職員		幼児安全法
	//	職員		幼児安全法
	//	職員		幼児安全法
	//	職員		幼児安全法
	//	職員		幼児安全法
	日赤富山県支部	いずみ高校生徒・教職員	41	健康生活支援講習
	107件		2,872	
富山市大沢野	新保小学校	教職員	20	救急法
	//	児童・保護者	20	救急法
	大久保小学校	教職員・保護者	52	救急法
	大久保ふれあいセンター	ファミリーサポートセンター会員	11	幼児安全法
	4 件		103	
富山市大山	大庄小学校	教職員	20	救急法
	上滝中学校	教職員	13	救急法
	2 件		33	
富山市八尾	八尾小学校	児童	95	救急法
	八尾中学校	教職員	25	救急法
	//	生徒	112	救急法
	3 件		232	
富山市婦中	速星小学校	教職員	42	救急法
	//	児童	112	水上安全法
	宮野小学校	教職員	16	救急法
	しらとり支援学校	教職員	85	救急法
	婦中行政サービスセンター	職員	5	救急法

地区区分名	実施場所	対象	人数	講習名
富山市婦中	速星公民館	プール管理者	63	救急法
	//	養護教諭	43	救急法
	//	養護教諭	47	救急法
	//	プール監視アルバイト	5	救急法
	婦中ふれあい館	ファミリーサポートセンター会員	8	幼児安全法
	富士薬品富山工場	職員	11	救急法
	富士薬品富山第2工場	職員	8	救急法
	//	職員	20	救急法
	13件		465	
富山市山田	山田小学校	教職員	9	救急法
	山田中学校	教職員	11	救急法
	//	生徒	7	救急法
	山田保育所	保護者	20	幼児安全法
	4件		47	
富山市細入				
高岡市	能町小学校	教職員	27	救急法
	二塚小学校	児童・保護者	52	救急法
	//	児童	22	水上安全法
	牧野小学校	教職員	36	救急法
	木津小学校	教職員	21	救急法
	高岡西部小学校	教職員	32	救急法
	野村小学校	教職員	37	救急法
	万葉小学校	教職員	15	救急法
	成美小学校	児童	56	水上安全法
	高岡商業高校	教職員	16	救急法
	//	生徒	31	救急法
	伏木高校	生徒	14	健康生活支援講習
	高岡向陵高校	生徒・教職員	40	健康生活支援講習
	こどものその	保護者	11	幼児安全法
	//	保護者	16	幼児安全法
	高岡第一学園幼稚園教諭・保育士養成所	学生	17	幼児安全法
	ふれあい福祉センター	保育補助者	20	幼児安全法
	高岡ふれあい福祉センター	保育補助者	6	幼児安全法
	トヨタモビリティ富山 中古車 garage 高岡商品化センター	職員	11	救急法
	県高岡総合プール	職員	19	水上安全法
	20件		499	
魚津市	ミラージュランド	警察官	24	救急法
	新川学びの森天神山交流会館	地域住民	15	救急法
	大海寺新公民館	桃山いきいきサロン会員	17	健康生活支援講習
	トヨタモビリティ富山 魚津店	職員	8	救急法
	魚津市健康センター	保護者	25	幼児安全法
	つばめ児童センター	ファミリーサポートセンター会員	5	幼児安全法

地区区分名	実施場所	対象	人数	講習名
魚 津 市	健康センター	親子	20	幼児安全法
	室内温水プール	職員	13	水上安全法
	8 件		127	
氷 見 市	氷見高校	教職員	40	救急法
	ふれあいスポーツセンター	PTA	28	救急法
	氷見ひかり保育園	親子・子育てサークルスタッフ	27	幼児安全法
	余川営農研修会館	親子・子育てサークルスタッフ	10	幼児安全法
	阿尾コミュニティセンター	親子・子育てサークルスタッフ	16	幼児安全法
	5 件		121	
滑 川 市	寺家小学校	教職員	14	救急法
	早月中学校	教職員	21	救急法
	市民交流プラザ	保育補助者	14	幼児安全法
	3 件		49	
黒 部 市	黒部国際文化センター	PTA	40	救急法
	JX 金属三日市リサイクル株式会社	職員	22	救急法
	2 件		62	
砺 波 市	出町中学校	PTA	40	救急法
	砺波青少年自然の家	学生ボランティア	41	救急法
	//	スキーパトロール	6	救急法
	市温水プール	職員	8	救急法
	イオンモールとなみ	従業員	48	救急法
	市役所	保育士・保育教諭	15	幼児安全法
	庄東子育て支援センター	乳児院とその保護者	10	幼児安全法
	出町児童センター	児童厚生員	10	幼児安全法
	8 件		178	
砺波市庄川	庄川健康プラザ	職員	10	水上安全法
	1 件		10	
小 矢 部 市				
南砺市城端				
南 砺 市 平				
南砺市上平	上平小学校	児童・教職員	59	水上安全法
	上平交流センター	南砺市上平赤十字奉仕団	10	救急法
	2 件		69	
南砺市利賀				
南砺市井口				
南砺市井波	井波社会福祉センター	井波赤十字奉仕団	40	健康生活支援講習
	1 件		40	
南砺市福野				
南砺市福光	福光児童館	ファミリーサポートセンター会員	15	幼児安全法
	1 件		15	
射 水 市	射北中学校	生徒	110	救急法
	小杉南中学校	生徒	68	救急法

地区区分名	実施場所	対象	人数	講習名
射 水 市	新湊高校	教職員	20	救急法
	大門高校	教職員	17	救急法
	庄西コミュニティセンター	地域住民	20	救急法
	市民交流プラザ	ファミリーサポートセンター会員	25	幼児安全法
	//	ファミリーサポートセンター会員	17	幼児安全法
	海竜スポーツランド	会員	20	水上安全法
	新湊コミュニティセンター	新湊中央赤十字奉仕団	23	救急法
	9 件		320	
入 善 町				
朝 日 町	町文化体育センター	朝日町赤十字奉仕団	36	健康生活支援講習
	1 件		36	
舟 橋 村	子育て支援センター	親子サークル・職員	25	幼児安全法
	舟橋会館	舟橋村赤十字奉仕団	20	健康生活支援講習
	2 件		45	
上 市 町	生涯学習会館	上市町赤十字奉仕団員	10	救急法
	//	上市町赤十字奉仕団員	10	健康生活支援講習
	保健福祉総合センター	上市町赤十字奉仕団員	20	健康生活支援講習
	3 件		40	
立 山 町	新川公民館	子育てサロンスタッフ	15	幼児安全法
	岩嶺公民館	親子・子育てサロンスタッフ	20	幼児安全法
	寺田公民館	地域住民	15	健康生活支援講習
	立山青少年自然の家	ボランティア養成セミナー受講者	31	救急法
	林業カレッジ	林業就業者	8	救急法
	//	林業就業希望者	8	救急法
	保健センター	親子・保健センター職員	20	幼児安全法
	7 件		117人	
合 計	206件		5,480	

※支部主催の講習は除く。

21 令和7年度赤十字奉仕団活動一覧（地域奉仕団・地区区分別）

富山市地区	富山市地区赤十字奉仕団 蛭川 清水町 愛五 白菊 四方 新庄 安野屋 山室 新庄北（柳町、堀川南休団） 計9団 467名
	ひとり暮らし高齢者訪問活動（訪問人数） 788人（蛭川170人、清水町130人、愛五103人、白菊60人、四方70人、新庄50人、安野屋45人、山室106人、新庄北54人）
	地域防災・救護活動
	蛭川 蛭川おやじ倶楽部キャンプ炊き出し ふるさとづくり三世代交流で炊き出し 住民運動会救護 奉仕団講習会でおはぎ作り 白菊 自治振興会防災訓練炊き出し 文化祭炊き出し 四方 小学生（JRC）と炊き出し訓練 校下・地区の訓練で炊き出し 他校区での炊き出し指導 新庄 地区防災訓練で炊き出し 校下文化祭で炊き出し 奉仕団研修会で炊き出し 住民スポーツ大会救護 新庄北 ふるさとウォーク救護 新庄北住民体育大会救護 校下防災訓練炊き出し 富山第一高校文化祭炊き出し 新庄北文化祭炊き出し 他地区での炊き出し指導
	施設等奉仕作業
	愛五 赤十字病院延べ48人 白菊 赤十字病院延べ95人 新庄 赤十字病院延べ108人 公民館清掃 安野屋 赤十字病院延べ48人 山室 赤十字病院延べ64人 新庄北 赤十字病院延べ94人
	献血呼びかけ
	蛭川 ファボーレ1回 清水町 ファボーレ1回 愛五 ファボーレ1回 白菊 大阪屋ショップ呉羽店1回、原信呉羽店1回 四方 アピタ富山東店1回 新庄 アピタ富山東店1回 安野屋 ファボーレ1回 山室 ファボーレ1回 新庄北 アピタ富山東店1回

富山市地区	特記活動	
	蛭川	ふれあい文化祭 いきいきクラブホールイベント担当
	愛五	地区サマーフェスティバル
	白菊	交通安全マスコット作り
	四方	マスコット作り 小学校（JRC）で授業 小学生（JRC）とひとり暮らし高齢者訪問
	新庄	新ちゃん食堂協力
	山室	校下エールキャンドル制作協力 長寿を祝う会協力 はたちを祝う集い協力
	新庄北	こどもフェスティバル協力

富山市大山分区	大山赤十字奉仕団 39名	
	ひとり暮らし高齢者訪問活動（訪問人数） 195人	
	地域防災・救護活動 炊き出し訓練（奉仕団研修）	
	施設等奉仕作業 はなさき苑 花苗植え・草むしり サマーフェスティバル協力	
	献血呼びかけ ファボーレ 1回	

富山市八尾分区	八尾町赤十字奉仕団 123名
	ひとり暮らし高齢者訪問活動（訪問人数） 246人
	地域防災・救護活動 中新田地区で炊き出し 八尾ふれあいフェスティバル（炊き出し） 室牧ごう汁祭り炊き出し 八尾小学校防災教室、PTA親子災害時の講習 奉仕団研修でおはぎ作り
	施設等奉仕作業 杉原いきいきサロン のりみね苑、椿寿荘、たちばな荘、風の庭 清掃12回 八尾園 障子張り
	献血呼びかけ ファボーレ 1回
	特記活動 小学生（JRC）とひとり暮らし高齢者訪問（新型コロナウイルスの影響で活動休止）

富山市婦中分区	婦中赤十字奉仕団 52名
	ひとり暮らし高齢者訪問活動（訪問人数） 190人
	地域防災・救護活動 団員研修会で炊き出し
	施設等奉仕作業
	献血呼びかけ ファボーレ 1回
	特記活動 ふれあい広場 in 婦中パネル展示

富山市山田分區	山田赤十字奉仕団 24名
	ひとり暮らし高齢者訪問活動（訪問人数） 20人
	施設等奉仕作業 あざみ園シーツ交換26回
	献血呼びかけ
	特記活動 花鉢・弁当宅配訪問 配食ボランティア 文化祭協力 牛岳ランタンフェスティバル 山田地域食堂・敬老会 餅つき交流会

高岡市地区	高岡市地区赤十字奉仕団 高岡南部丸美 伏木 中田 高岡中央 福岡町 計 5 団 330名
	ひとり暮らし高齢者訪問活動（訪問人数） 1,702人（高岡南部丸美40人、伏木288人、中田54人、高岡中央1,140人、福岡町180人）
	地域防災・救護活動
	高岡南部丸美 炊き出し訓練（奉仕団研修） 地区防災訓練 敬老の日を祝う会で救護活動 戸出地区スポーツの日で救護活動 地区ニューススポーツ体験会で救護活動
	伏木 雨晴マリーナ救護所待機10日間 伏木港まつり救護班派遣 伏木場所大相撲救護班派遣 伏木校下住民大運動会救護班派遣（中止） 古府校区住民運動会救護班派遣（中止） 海と灯台プロジェクト清掃作業救護班派遣 伏木ふれあい大運動会救護班派遣 ふれあい育成スポーツ大会炊き出し体験 古府 de まな防災炊き出し協力 中田 市防災訓練、施設で炊き出し 福岡町 炊き出し訓練（奉仕団研修） 地区防災フェスタ 高岡中央 炊き出し訓練（奉仕団研修） 高岡万葉まつり朗唱の会（救護等）

高岡市地区	施設等奉仕作業	
	伏木	ふしき苑で球根・花苗植込み２回 雨晴苑で除草作業２回
	中田	志貴野ホーム、だいで苑中田館
	福岡町	清楽園シーツ交換 さくら苑慰問 かごめ苑に手作りゼリー、いちご大福、カレーライス寄贈 アルテン赤丸でクラブ活動介助
	献血呼びかけ	
	高岡南部丸美	イオンモール高岡４回
	伏木	イオンモール高岡３回、伏木コミュニティセンター１回
	中田	イオンモール高岡３回
	高岡中央	イオンモール高岡４回、キッズ献血協力１回
	福岡町	イオンモール高岡３回
	特記活動	
	伏木	ひとり暮らし高齢者との集い 会報「帆ばしら」第56号発行
	福岡町	福岡小学校新入生に団員手作りの交通安全マスコット贈呈 ふれあい交流会 つくりもん祭り 町ながし協力

魚津市地区	魚津市赤十字奉仕団 66名	
	ひとり暮らし高齢者訪問活動（訪問人数）	
	901人	
	地域防災・救護活動	
	市防災訓練（炊き出し）	
	施設等奉仕作業	
	東部デイサービス	
	献血呼びかけ	
	アップルヒル 6回（うち１回は大雪のため中止）	

氷見市地区	氷見市地区赤十字奉仕団 十二町 窪 (朝日丘、東 休団) 計 2 団 46名
	ひとり暮らし高齢者訪問活動（訪問人数） 117人（十二町28人、窪89人）
	地域防災・救護活動 十二町 ふれあいウォークラリーで炊き出し訓練 学童食堂、サロンで炊き出し 窪 避難訓練で炊き出し
	施設等奉仕作業 十二町 夏花壇用花苗作り協力 十二町地区内、社会福祉施設等 3 か所に花苗提供 地域花壇、サロン活動、寄せ植え体験 窪 施設奉仕（4 回）
	献血呼びかけ

滑川市地区	滑川市赤十字奉仕団 54名
	ひとり暮らし高齢者訪問活動（訪問人数） 250人
	地域防災・救護活動 炊き出し研修
	施設等奉仕作業 清寿荘、市社協
	献血呼びかけ プラント33回
	特記活動 障がい者・家族レクリエーション大会に協力 自宅で寄贈のための縫製作業 活動写真パネル展示

黒部市地区	黒部市地区赤十字奉仕団 宇奈月 黒部市石田 計 2 団 46名
	ひとり暮らし高齢者訪問活動（訪問人数） 205人
	地域防災・救護活動 宇奈月 地区防災訓練 黒部市石田 防犯パトロール 防災について
	施設等奉仕作業 黒部市石田 越之湖花苗の植え込み 黒部学園紙折り作業 3 回 にいかわ総合支援学校
	特記活動 黒部市石田 石田公民館まつり（豚汁・よもぎ団子作り） 友愛セール

砺波市地区	砺波市地区赤十字奉仕団 砺波市 庄川町 計 2 団 390名
	ひとり暮らし高齢者訪問活動（訪問人数） 323人（砺波市258人、庄川町65人）
	地域防災・救護活動 砺波市 市防災訓練 庄川町 雄神・種田・東山見地区防災訓練 奉仕団内炊き出し訓練
	施設等奉仕作業 砺波市 やなげ苑（話し相手、ひなまつり訪問） 総合病院ボランティア 庄川町 ケアポート庄川除草
	献血呼びかけ 砺波市 イオンモールとなみ 6 回
	特記活動 砺波市 砺波市ボランティアフェスティバル協力 砺波市ボランティア活動紹介展 キラキラミッションイルミネーション装飾 出町地区配食サービス協力 庄川町 砺波市ボランティア活動紹介展

小矢部市地区	小矢部市赤十字奉仕団 43名
	ひとり暮らし高齢者訪問活動（訪問人数） 297人
	地域防災・救護活動 市防災訓練（救急訓練、炊き出し訓練）
	施設等奉仕作業 清楽園シーツ交換
	献血呼びかけ ピアゴ2回、市役所1回

南砺市地区	南砺市地区赤十字奉仕団 福野 福光 井波 城端 井口 平 上平 利賀 計8団 310名
	ひとり暮らし高齢者訪問活動（訪問人数） 693人（福野155人、福光250人、井波107人、城端116人、井口12人、平29人、上平14人、利賀10人）
	地域防災・救護活動 福野 中部防災訓練炊き出し 食改との合同研修（炊き出し） 奉仕団研修での炊き出し 井波 南山見地区防災訓練参加、高瀬地区防災訓練で炊き出し 奉仕団研修での炊き出し 老人クラブカローリング大会救護 南山見地区運動会救護 城端 むぎやまつり救護 つごもりあったか鍋 市総合防災訓練 井口 生涯フェスタ炊き出し 平 炊き出し訓練 上平 炊き出し訓練、救急法講習会 利賀 地区火災時の炊き出し、見守り
	施設等奉仕作業 福野 旅川デイサービス、福寿園 福光 やすらぎ荘 井波 マーシ園ボランティア いなみデイサービス、老人ホームいなみ（新型コロナウイルスの影響で活動休止） 城端 となみ総合支援学校交流会2回 城端別院清掃奉仕 うららの郷納涼祭 井口 やすらぎ荘5回（うち1回雨天のため中止） 花椿4回 井口デイサービスセンター2回（うち1回雨天のため中止）

南砺市地区	献血呼びかけ 福光 福光庁舎 2 回
	特記活動 福野 北部 DE 夏フェス、北部地区文化祭・敬老会協力 平 一人暮らし・高齢者世帯弁当配食 上平 高齢者配食サービス 文化祭で活動パネル展示 高齢者への年賀状発送 利賀 デイサービスセンター喜楽及び子供広場に体操用ラジカセ及び DVD と応急処 置用救急用品提供 バス停美化活動 三世代ふれあいクッキング 高齢者配食サービス事業に協力 新そば祭りに協力

射水市地区	射水市地区赤十字奉仕団 下村 大江 大島 新湊中央 (大門休団) 計 5 団 219 名
	ひとり暮らし高齢者訪問活動（訪問人数） 521 人（下村 12 人、大江 55 人、大島 40 人、新湊中央 414 人） 地域防災・救護活動 下村 いみず女性ネットワークで料理教室 おむすび（子どもサポートハウス）で料理教室 大江 地域振興会自主防災訓練（炊き出し） 小杉防災スポーツフェスタ協力 新湊中央 地区防災訓練（炊き出し訓練） 施設等奉仕作業 下村 いみず苑 大江 大江苑 大島 いみず苑 中央公園清掃 新湊中央 いみず苑 献血呼びかけ 大江 アルプラザ小杉 3 回 大島 射水市役所 1 回 特記活動 下村 資源回収 2 回 ふる里祭り 子育てフェスティバル 納涼祭 大江 地域ふれあいサロンへの協力 大島 使用済み切手収集 新湊中央 内川、六渡寺海岸、海老江海岸清掃に参加

入善町分区	入善町赤十字奉仕団 82名
	ひとり暮らし高齢者訪問活動（訪問人数） 464人
	施設等奉仕作業 おあしす新川 除草
	献血呼びかけ 町役場 1 回
	特記活動 愛の声掛け訪問 ハートフルフェスティバル協力

朝日町分区	朝日町赤十字奉仕団 156名
	ひとり暮らし高齢者訪問活動（訪問人数） 290人
	地域防災・救護活動 町防災訓練 炊き出し訓練（奉仕団研修） ふくしフェスティバルにおいて防災用品展示
	施設等奉仕作業 つるさんかめさん 有磯苑（新型コロナウイルスの影響で活動休止）
	特記活動 地域見守り配食サービス事業（80歳以上372名に外注食を配食）

舟橋村分区	舟橋村赤十字奉仕団 42名
	ひとり暮らし高齢者訪問活動（訪問人数） 28人
	地域防災・救護活動 炊き出し訓練
	特記活動 サンフラワープロジェクト ヒマワリの種植え付け協力 夏休みふれあいボランティア体験協力 福祉おでかけ交流会協力

上市町分 区	上市町赤十字奉仕団 32名
	ひとり暮らし高齢者訪問活動（訪問人数） 400人
	地域防災・救護活動 地区防災訓練炊き出し
	施設等奉仕作業 四ツ葉園 常楽園
	献血呼びかけ 町役場 2 回

立山町分 区	立山町赤十字奉仕団 194名
	ひとり暮らし高齢者訪問活動（訪問人数） 390人
	地域防災・救護活動 町総合防災訓練で炊き出し
	施設等奉仕作業
	献血呼びかけ 町役場 1 回
	特記活動 釜ヶ淵小学校で防災教育 地下道清掃 利田地区ふれあい食堂 放課後児童クラブ防災活動 アカリエであそぼうさい

資 料 Ⅱ

決算概要

(1) 令和7年度一般会計歳入歳出決算説明書

日本赤十字社富山県支部（単位：円）

歳 入							歳 出								
科 目	当初予算 (千円)	補正・流用	予算現額 (千円)	決算額(円)	予算比 伸び率	前年比 伸び率	備 考	科 目	当初予算 (千円)	補正・流用	予算現額 (千円)	決算額(円)	予算比 伸び率	前年比 伸び率	備 考
1. 社 資 収 入	184,000	1,067	185,067	204,601,599	10.6%	-11.1%		1. 災害救護事業費	17,725	97,428	115,153	115,151,495	0.0%	-86.6%	
(1) 一般社資収入	166,000	557	166,557	176,358,515	5.9%	-12.6%	指定寄付 8,228千円 内訳(病院 7,438千円 乳児院 790千円)	(1) 災 害 救 護 指 導 事 業 費	9,243	220	9,463	9,659,521	2.1%	-25.3%	能登大雨補償収入病院 へ繰出し 466千円
(2) 法人社資収入	18,000	510	18,510	28,243,084	52.6%	-0.3%	指定寄付を除く社資 195,817千円 海外救援金 557千円	(2) 災 害 救 護 装 備 費	7,867	0	7,867	7,884,237	0.2%	39.0%	災害救援車更新2台 (指定事業地方振興費 と併せて) 1,653千円
2. 委託金等収入	1,355	0	1,355	2,521,065	86.1%	-62.2%		(3) 災害義援金 送 付 金	0	97,208	97,208	97,207,737	皆増	-88.4%	パイプテント(ワンタ ッチ) 30台 4,290千円
(1) 委託金等収入	1,355	0	1,355	2,521,065	86.1%	-62.2%	県物資備蓄倉庫等管理 業務委託金 1,355千円 能登大雨災害救助法補 償収入 1,167千円	(4) 救護看護師 指導養成費	615	0	615	400,000	-35.0%	-60.0%	R6能登半島地震災害 義援金(富山県への送 金分) 97,208千円
3. 補助金及び 交付金収入	5,347	0	5,347	5,679,242	6.2%	-19.1%		2. 社会活動費	38,346	0	38,346	36,018,392	-6.1%	-3.4%	
(1) 補助金収入	0	0	0	0	-	-		(1) 救急法等普及費	9,724	0	9,724	6,247,361	-35.8%	-24.3%	救急人形10体 406千円
(2) 本社交付金収入	5,347	0	5,347	5,679,242	6.2%	-19.1%	施設整備交付金 1,897千円 管理経費調整交付金 900千円 システム保守管理費等 2,883千円	(2) 奉仕団活動費	10,403	0	10,403	10,386,734	-0.2%	1.0%	
4. 災害義援金 預り金収入	0	98,547	98,547	98,546,271	皆増	-81.0%		(3) 青少年赤十字 活 動 費	10,141	0	10,141	10,327,065	1.8%	2.6%	国際交流(モンゴルメ ンバー受入) 271千円
(1) 災害義援金 預り金収入	0	98,547	98,547	98,546,271	皆増	-81.0%	R6能登半島地震災害 義援金 98,547千円	(4) 社会福祉活動費	6,578	0	6,578	7,557,832	14.9%	4.6%	
5. 繰入金収入	0	18,620	18,620	20,369,667	皆増	-94.0%		(5) 医療事業費	1,000	0	1,000	1,000,000	0.0%	0.0%	
(1) 資金繰入金収入	0	557	557	557,000	皆増	皆増	(再掲) 海外救援金 557千円	(6) 血液事業費	500	0	500	499,400	-0.1%	5.4%	
(2) 事業準備積立金 繰入金収入	0	18,063	18,063	19,812,667	皆増	-94.1%	能登地震災害義援金 (前年度分) 18,062千円 使途指定寄付金 (病院指定)(前年度分) 1,750千円	3. 国際活動費	1,300	557	1,857	1,857,000	0.0%	42.8%	
6. 雑 収 入	1,341	0	1,341	1,506,069	12.3%	53.8%		4. 指 定 事 業 地 方 振 興 費	1,000	557	1,557	1,557,000	0.0%	55.7%	災害救援車更新(災害 救護装備費と併せて) 950千円 海外救援金 557千円
(1) 利子収入	1	0	1	8,765	776.5%	392.4%		5. 地 区 分 区 交 付 金 支 出	25,639	0	25,639	23,339,759	-9.0%	-5.4%	
(2) 負担金収入	1,280	0	1,280	734,137	-42.6%	-7.9%	救急法等講習負担金 618千円 トレセン参加負担金 116千円	6. 社 業 振 興 費	31,649	283	31,932	31,929,966	0.0%	4.5%	
(3) 雑 収 入	60	0	60	763,167	1171.9%	324.6%	奨学金返還2人分 600千円	(1) 社 業 振 興 費	18,443	283	18,726	18,537,807	-1.0%	6.1%	全国大会 1,707千円
7. 前年度繰越金	32,000	0	32,000	49,062,339	53.3%	-1.8%		(2) 広 報 活 動 費	13,206	0	13,206	13,392,159	1.4%	2.5%	万博スタッフ派遣 101千円
(1) 前年度繰越金	32,000	0	32,000	49,062,339	53.3%	-1.8%		7. 基盤整備交付金・ 補 助 金 支 出	10,000	0	10,000	9,977,500	-0.2%	-53.2%	病院・乳児院
								8. 積 立 金 支 出	24,451	19,402	43,853	43,426,296	-1.0%	-22.6%	
								(1) 資金積立金支出	18,000	0	18,000	18,000,000	0.0%	-40.6%	施設整備準備資金 18,000千円
								(2) 事 業 準 備 積 立 金 支 出	0	19,402	19,402	19,401,201	皆増	-2.1%	能登半島地震災害義援 金のうち、県へ未送金 分 19,402千円
								(3) 退職給与資金特別 会計積立金支出	6,451	0	6,451	6,025,095	-6.6%	0.2%	
								9. 総 務 管 理 費	41,713	0	41,713	40,980,681	-1.8%	7.0%	
								(1) 評議員会等諸費	790	0	790	700,010	-11.4%	13.9%	
								(2) 総務管理費	40,313	0	40,313	39,673,151	-1.6%	7.0%	150周年プロジェクト 参加 132千円
								(3) 監 査 費	610	0	610	607,520	-0.4%	0.0%	
								10. 資産取得及び 資産管理費	2,830	0	2,830	2,559,517	-9.6%	-6.1%	
								11. 本社送納金支出	26,390	3,007	29,397	29,396,189	0.0%	-12.8%	
								12. 予 備 費	3,000	-3,000	0	0	-	-	
歳 入 合 計	224,043	118,234	342,277	382,286,252	11.7%	-66.8%		歳 出 合 計	224,043	118,234	342,277	336,193,795	-1.8%	-69.6%	

歳入決算額 382,286,252円 - 歳出決算額 336,193,795円 = 歳入歳出差引残高 46,092,457円

(2) 令和7年度医療施設特別会計決算説明書

1. 収益的收入及び支出

富山赤十字病院（単位：円）

収入科目	予算現額	決算額	予算対比 (%)	前年度比 (%)	支出科目	予算現額	決算額	予算対比 (%)	前年度比 (%)
1. 医 業 収 益	12,769,574,000	11,792,625,466	△7.7%	△2.0%	1. 医 業 費 用	13,198,844,000	11,878,311,855	△10.0%	1.8%
(1) 入 院 診 療 収 益	8,760,000,000	8,186,460,451	△6.5%	△0.6%	(1) 材 料 費	4,050,765,000	3,795,765,608	△6.3%	△2.7%
(2) 室 科 差 額 収 益	111,453,000	106,213,462	△5.6%	△4.5%	(2) 給 与 費	6,182,056,000	5,182,748,134	△16.2%	8.2%
(3) 外 来 診 療 収 益	3,459,555,000	3,091,124,702	△10.6%	△5.0%	(3) 委 託 費	999,144,000	1,000,291,141	0.1%	1.1%
(4) 保 健 予 防 活 動 収 益	363,850,000	358,787,058	△1.4%	△1.6%	(4) 設 備 関 係 費	591,250,000	585,917,437	△0.9%	△2.6%
(5) そ の 他 の 医 業 収 益	86,936,000	87,276,280	0.4%	△3.1%	(5) 研 究 研 修 費	48,112,000	36,613,618	△23.9%	15.5%
(6) 保 険 等 査 定 減	-12,220,000	-36,236,487	196.5%	△76.7%	(6) 経 費	601,099,000	550,973,444	△8.3%	△5.8%
					(7) 減 価 償 却 費	726,418,000	726,002,473	△0.1%	△5.3%
2. 医 業 外 収 益	167,792,000	424,038,142	152.7%	121.5%	2. 医 業 外 費 用	38,615,000	40,946,370	6.0%	17.4%
(1) 受 取 利 息	6,268,000	10,541,706	68.2%	86.1%	(1) 支 払 利 息	458,000	457,303	△0.2%	0.0%
(2) 運 営 費 補 助 金 等 収 益	27,744,000	277,067,702	898.7%	488.0%	(2) 看 護 師 等 委 託 養 成 費	9,920,000	9,920,000	0.0%	4.9%
(3) 施 設 設 備 補 助 金 等 収 益	64,075,000	68,525,894	6.9%	△0.2%	(3) そ の 他 医 業 外 費 用	28,237,000	30,569,067	8.3%	22.5%
(4) そ の 他 の 医 業 外 収 益	69,705,000	67,902,840	△2.6%	△2.9%					
3. 医 療 社 会 事 業 収 益	210,000	122,200	△41.8%	△30.2%	3. 医 療 奉 仕 費 用	11,206,000	10,557,690	△5.8%	99.0%
(1) 医 療 社 会 運 営 費 補 助 金 等 収 益	210,000	122,200	△41.8%	△30.2%	(1) 医 療 社 会 事 業 費	11,099,000	10,557,690	△4.9%	99.0%
					(2) 社 会 活 動 費	107,000	0	△100.0%	0.0%
4. 付 帯 事 業 収 益	122,400,000	109,707,631	△10.4%	△3.4%	4. 付 帯 事 業 費 用	129,001,000	100,227,466	△22.3%	6.3%
(1) 訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン 収 益	79,560,000	74,789,541	△6.0%	△4.9%	(1) 訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン 費	77,200,000	61,551,937	△20.3%	8.6%
(2) 地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー 収 益	26,928,000	23,081,789	△14.3%	2.8%	(2) 地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー 費	27,027,000	19,506,670	△27.8%	△2.8%
(3) ケ ア プ ラ ン 事 業 所 収 益	15,912,000	11,836,301	△25.6%	△5.2%	(3) ケ ア プ ラ ン 事 業 費	24,774,000	19,168,859	△22.6%	9.6%
5. 特 別 利 益	950,000	747,790	△21.3%	△18.1%	5. 特 別 損 失	5,000,000	959,396	△80.8%	△76.3%
(1) そ の 他 特 別 利 益	950,000	747,790	△21.3%	△18.1%	(1) 固 定 資 産 除 去 損	5,000,000	959,396	△80.8%	△76.3%
					(2) そ の 他 特 別 損 失	0	0		
					6. 法 人 税 等	0	-174,184	100.0%	100.0%
					7. 予 備 費	10,000,000	0	△100.0%	
収益的收入合計	13,060,926,000	12,327,241,229	△5.6%	△0.1%	収益的支出合計	13,392,666,000	12,030,828,593	△10.2%	1.9%

2. 資本的収入及び支出

収 入

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	翌年度繰越額	予算額に比し 増減	内 訳
病 院 収 益	310,262,000	308,071,391	0	2,190,609	
1 固 定 負 債	17,500,000	17,021,420		478,580	
					1 固 定 負 債 17,021,420
					(1) 借 入 金 0
					(2) リース未払金 0
					(3) 長期前受補助金等 17,021,420
					(4) その他固定負債 0
2 資産売却収入	0	0		0	
					2 資 産 売 却 収 入 0
					(1) 資 産 売 却 収 入 0
3 その他資本収入	292,762,000	291,049,971		1,712,029	
					3 そ の 他 資 本 収 入 291,049,971
					(1) 補 助 金 等 0
					(2) その他資本収入 291,049,971
資 本 的 収 入 合 計	310,262,000	308,071,391	0	4,381,218	

支 出

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額	内 訳
病 院 費	310,262,000	308,071,391	0	2,190,609	
1 固 定 資 産	304,553,000	302,362,820	0	2,190,609	
					1 固 定 資 産 302,362,820
					(1) 有形固定資産 295,957,243
					(2) 無形固定資産 6,405,577
2 借入金等償還	5,709,000	5,708,571		429	
					2 借 入 金 等 償 還 5,708,571
					(1) 借 入 金 等 償 還 0
					(2) リース未払金支払 5,708,571
					(3) その他負債返済 0
資 本 的 支 出 合 計	310,262,000	308,071,391	0	2,191,038	

(3) 令和7年度社会福祉施設特別会計歳入歳出決算説明書

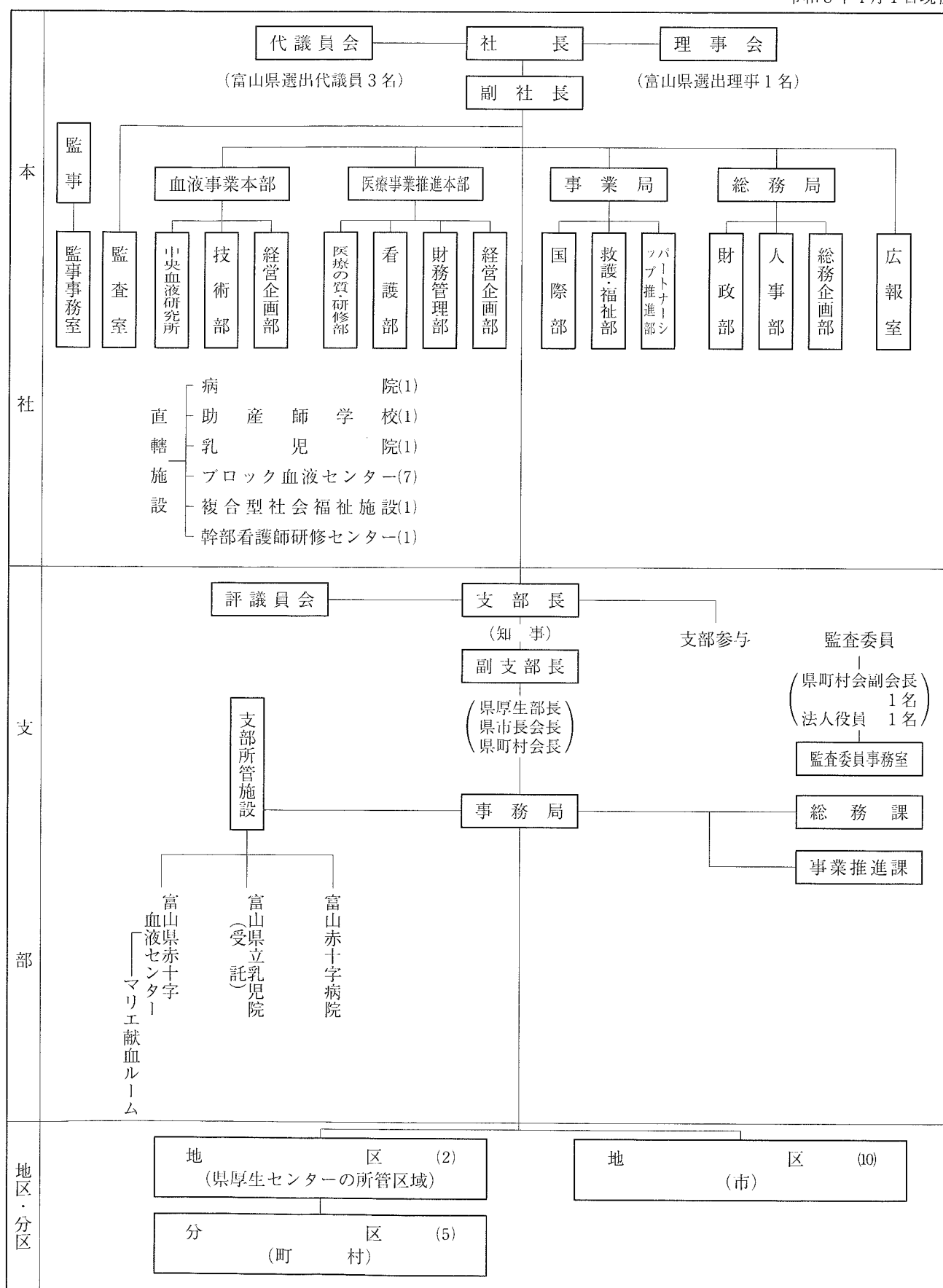
富山県立乳児院（単位：円）

収 入 の 部	予算現額	決算額	予算対比 伸び率	前年度比 伸び率	支 出 の 部	予算現額	決算額	予算対比 伸び率	前年度比 伸び率
事業活動による収入	182,626,000	182,773,173	0.1%	4.5%	事業活動による支出	216,611,000	199,801,796	△7.8%	△6.2%
児童福祉事業収入	181,826,000	181,803,334	△0.0%	4.8%	人件費支出	182,434,000	175,479,864	△3.8%	△6.8%
受託事業収入	172,367,000	171,297,701	△0.6%	4.2%	職員給料支出	75,488,000	72,196,563	△4.4%	△1.1%
乳児院事業収入（県）	163,749,000	162,338,901	△0.9%	4.3%	職員賞与支出	26,065,000	26,016,751	△0.2%	0.2%
里親支援機関事業収入（県）	8,170,000	8,522,000	4.3%	1.1%	非常勤職員給与支出	32,814,000	32,313,692	△1.5%	34.4%
子育て短期支援事業（市） （富山県内 全市町）	448,000	436,800	△2.5%	8.3%	退職給付支出	21,000,000	20,218,900	△3.7%	△51.8%
補助金事業収入	9,459,000	10,505,633	11.1%	17.2%	法定福利費支出	27,067,000	24,733,958	△8.6%	5.8%
補助金収入（県）	300,000	0	－	－	事業費支出	21,911,000	15,126,759	△31.0%	6.0%
補助金収入（市）	165,000	140,335	△14.9%	－	給食費支出	6,410,000	3,237,769	△49.5%	8.5%
病児・病後児保育補助金事業収入	8,537,000	9,943,000	16.5%	16.5%	保健衛生費支出	1,120,000	957,994	△14.5%	32.7%
病児・病後児保育利用者等収入	312,000	258,000	△17.3%	9.3%	被服費支出	120,000	118,332	△1.4%	41.0%
その他の団体	145,000	164,298	13.3%	313.8%	教養娯楽費支出	280,000	196,387	△29.9%	11.0%
経常経費寄附金収入	700,000	589,500	△15.8%	△55.3%	水道光熱費支出	7,980,000	5,952,391	△25.4%	△4.7%
経常経費寄附金収入	700,000	589,500	△15.8%	△55.3%	消耗器具備品費支出	3,645,000	2,972,173	△18.5%	17.1%
受取利息配当金収入	20,000	186,785	833.9%	258.7%	賃借料支出	1,365,000	1,362,119	△0.2%	2.4%
受取利息配当金収入	20,000	186,785	833.9%	258.7%	雑支出	991,000	329,594	△66.7%	76.1%
その他の収入	80,000	193,554	141.9%	239.6%	事務費支出	12,256,000	9,188,491	△25.0%	△10.6%
受入研修費収入	65,000	60,000	△7.7%	20.0%	福利厚生費支出	1,665,000	914,339	△45.1%	△17.8%
雑収入	15,000	133,554	790.4%	1807.9%	職員被服費支出	35,000	5,760	△83.5%	62.0%
					旅費交通費支出	200,000	162,585	△18.7%	△9.6%
					研修研究費支出	1,200,000	1,020,468	△15.0%	△32.4%
					事務消耗品費支出	600,000	473,020	△21.2%	△25.7%
					印刷製本費支出	20,000	16,332	△18.3%	1.0%
					水道光熱費支出	792,000	776,357	△2.0%	29.2%
					修繕費支出	530,000	518,089	△2.2%	51.3%
					通信運搬費支出	985,000	980,281	△0.5%	5.9%
					会議費支出	10,000	587	△94.1%	0.0%
					広報費支出	450,000	286,000	△36.4%	△26.8%
					業務委託費支出	2,436,000	2,007,288	△17.6%	△17.9%
					手数料支出	250,000	237,380	△5.0%	7.7%
					保険料支出	210,000	197,640	△5.9%	0.1%
					賃借料支出	100,000	96,536	△3.5%	20.2%
					租税公課支出	750,000	28,081	△96.3%	△96.2%
					保守料支出	800,000	766,109	△4.2%	12.8%
					雑支出	1,223,000	701,639	△42.6%	260.6%
					支払利息支出	10,000	6,682	△33.2%	△23.7%
					支払利息支出	10,000	6,682	△33.2%	△23.7%
施設設備等による収入	240,000	240,000	－	－	施設設備等による支出	471,000	423,906	－	181.1%
施設設備等補助金収入	240,000	240,000	－	－	固定資産取得支出	271,000	271,000	0.0%	－
					ファイナンスリース債務の返済支出	200,000	152,906	△23.5%	1.4%
その他の活動による収入	41,890,000	21,114,900	△49.6%	△46.8%	その他の活動による支出	7,674,000	6,798,631	△11.4%	△5.7%
積立資産取崩収入	20,000,000	0	－	－	その他の活動による支出	7,674,000	6,798,631	△11.4%	△5.7%
人件費積立資産取崩収入	20,000,000	0	－	－	その他の支出	7,674,000	6,798,631	△11.4%	△5.7%
他会計繰入金収入	890,000	896,000	0.7%	△2.2%					
一般会計繰入金収入	890,000	896,000	0.7%	△2.2%					
医療施設特別会計繰入金収入	0	0							
その他の活動による収入	21,000,000	20,218,900	△3.7%	△47.9%					
その他の収入	21,000,000	20,218,900	△3.7%	△47.9%					
収入合計額	224,756,000	204,128,073	△9.2%	△4.9%	支出合計額	224,756,000	207,024,333	△7.9%	△6.0%

当期収入決算額 204,128,073円 － 当期支出決算額 207,024,333円 ＝ －2,896,260円

日本赤十字社富山県支部の関係組織図

令和8年4月1日現在



(富山赤十字看護専門学校：令和3年3月31日閉校)

